

J P C

J A P A N P O W E R C I T I E S

日本の 都市特性評価

Japan Power Cities
Profiling Urban Attractiveness



2022



森記念財団
MORI MEMORIAL FOUNDATION

目次

はじめに	02
「日本の都市特性評価 2022」とは	03
対象都市	05
評価体系	07
138 都市 結果・分析	09
東京23区 結果・分析	22
特集研究	25
指標の定義	29

はじめに

新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックは、スペイン風邪以来100年ぶりの感染症の猛威を人々にみせつけ、20世紀に確立した都市活動と人々のライフスタイルに影響を与えました。世界保健機関（WHO）の表明から2年以上が経過した2022年になって、新規感染者数が世界的に減少傾向となりつつあります。アフターコロナに移行するなかで都市は以前の活動にそのまま戻るのか、パンデミックの教訓から何かが変わるのか、まだその最終的な姿は明らかにはなっていません。

日本全体の活力を生み出すためには、全国の都市の総合力を上げることが不可欠であるとの視点に立って、「日本の都市特性評価（Japan Power Cities — Profiling Urban Attractiveness / JPC）」の作成を2018年に開始し、今年で5年目となりました。ではこの2年間、新型コロナウイルスの発生が、都市に暮らす人々の働き方や住まい方に変化を起こさせたことで、JPCの結果はどのようになったのでしょうか。JPCの評価は都市の6つの分野における86の指標で行われています。パンデミックによって都市運営や基盤整備などのあり方が問われることになり、そのための施策対応が短期・中期のタイムスパンで行われることは予想に難くありませんが、それらが指標の変化としては未だはっきり表れていません。ただし、過去1年で指標変化として直接的に表れているのは、人の動きに関わるものです。国内の人の動きの減少、海外からの人の流入の停止、これらが、イベントの数、宿泊施設客室数、休日の人の多さ、国際会議・展示会開催件数、のすべてに減少を引き起こしています。これらの指標は86指標の一割に満たないものの、こうしたことが強みとなっている都市についてはスコアの減少が顕著となっています。

JPCでの分析では、総合力から日本の主要都市の都市特性の経年変化を明らかにしています。今年は、この定量分析的手法によって行われている総合力の評価に加えて、特集研究として、人々が居住する都市に対して抱いている「都市のイメージ」を定性的に分析しました。居住者へのアンケート調査を実施し、意識の中の「都市のイメージ」を多角的に分析し、可視化することを試みました。この研究の結果は、今後の都市のブランディング戦略に資するものであり、各都市が人を惹きつけ、魅力を発揮する政策立案に役立てられることを目的にしているJPCに一層の厚みを与えるものと期待しています。

日本の都市特性評価 運営委員会 委員長
市川 宏雄
2022年7月



「日本の都市特性評価 2022」とは

About JPC-2022

背景・目的

世界の総人口が今後も増加を続けていくと予測されている一方、日本では少子高齢化および急速な人口減少が見込まれている。そのような状況に直面してもなお、**日本全体が活力を保ち続けるためには、各都市がそれぞれの“特性”を活かしながら都市づくりを進め**、人や企業を惹きつける「磁力」と、魅力や強みを継続的に発揮し続ける「発展性」を維持していかなければならない。

そのためには、各都市が現在の都市の力を客観的に把握した上で、次の時代に向けた都市戦略を立案し、実行に移していくことが求められる。そこで、「日本の都市特性評価」では、日本の各都道府県における主要都市を対象として、都市の力を定量・定性データをもとに**相対的かつ多角的に分析し、都市の強みや魅力といった都市特性を明らかにすることを目的**として調査研究を行った。

策定体制

運営委員会

Steering Committee

評価体系の構築、データ収集、評価・分析

【委員長】



市川 宏雄

Hiroo Ichikawa

明治大学名誉教授

【メンバー】

森記念財団 都市戦略研究所

有識者委員会

Expert Committee

専門的な見地からの意見および助言

【委員（五十音順）】



浅見 泰司

Yasushi Asami

東京大学大学院
工学系研究科
教授



市川 一宏

Kazuhiro Ichikawa

ルーテル学院大学
学術顧問・教授



岸井 隆幸

Takayuki Kishii

政策研究大学院大学
客員教授



中井 検裕

Norihiro Nakai

東京工業大学
環境・社会理工学院長
教授



中川 雅之

Masayuki Nakagawa

日本大学
経済学部
教授



花木 啓祐

Keisuke Hanaki

東洋大学
情報連携学部教授、
東京大学名誉教授



吉見 俊哉

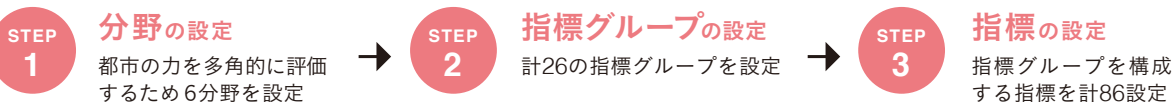
Shunya Yoshimi

東京大学大学院
情報学環
教授

意見
助言

評価手法

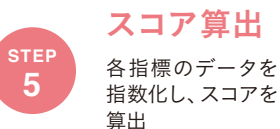
▶ Creating Framework



▶ Data Collection



▶ Indexation



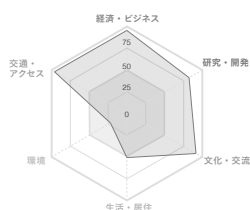
スコア算出方法



▶ Evaluation and Analysis

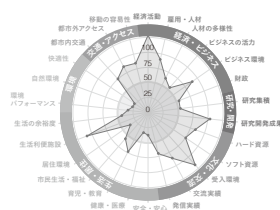


1 分野別レーダーチャート



多角的に都市を評価するために、スコアの偏差値と順位を用いてレーダーチャートを作成した。

2 指標グループ別レーダーチャート



各都市がどのような指標グループにおいて、強みを発揮しているか、レーダーチャートを用いて視覚的に明らかにする。

対象都市

Target Cities

本調査は、国内の138都市と東京23区を対象としている。
138都市については下記のとおり選定基準を設定し、抽出した。

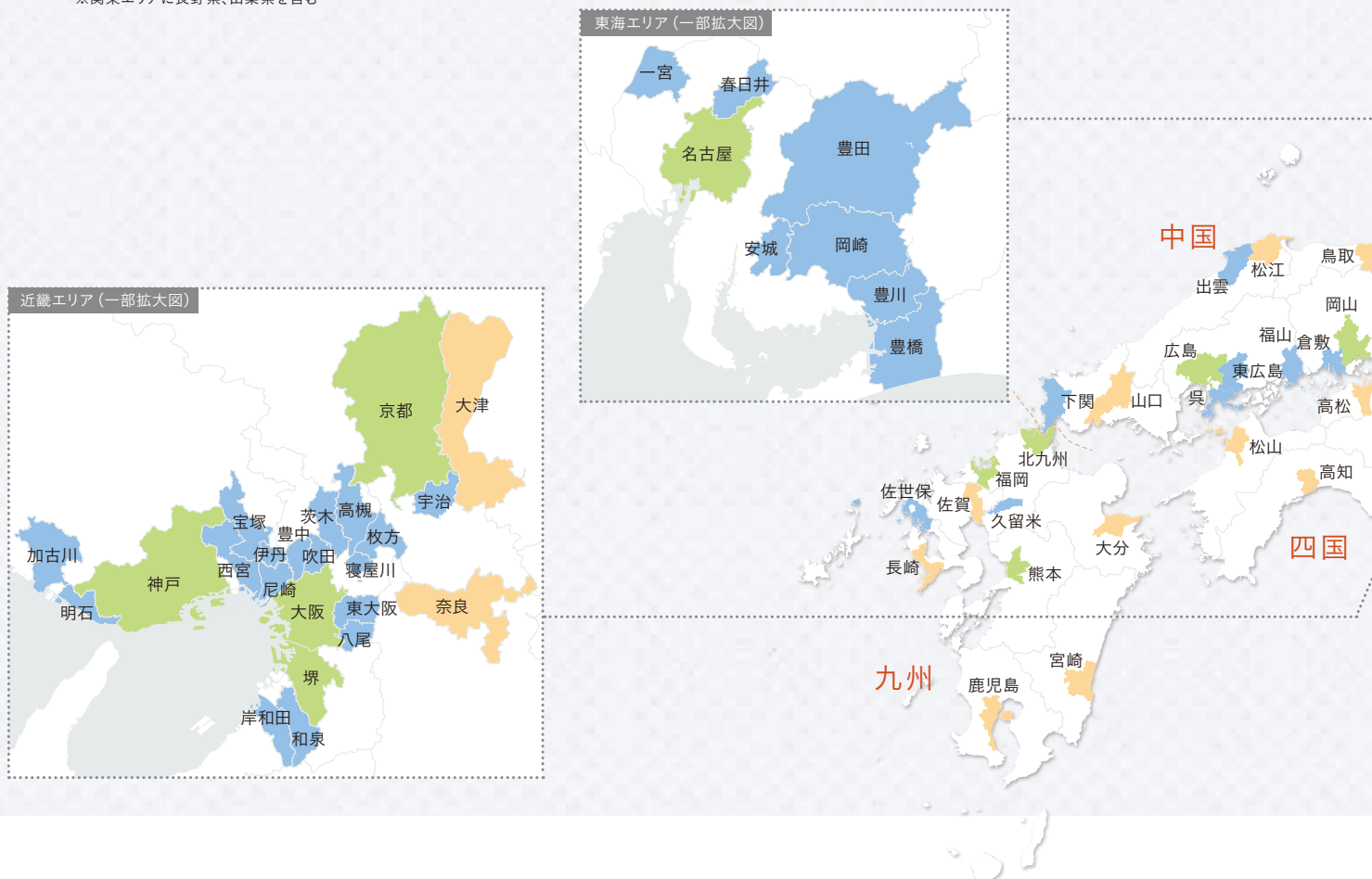
1. 政令指定都市
2. 都道府県庁所在地（政令指定都市を除く）
3. 人口17万人以上の都市

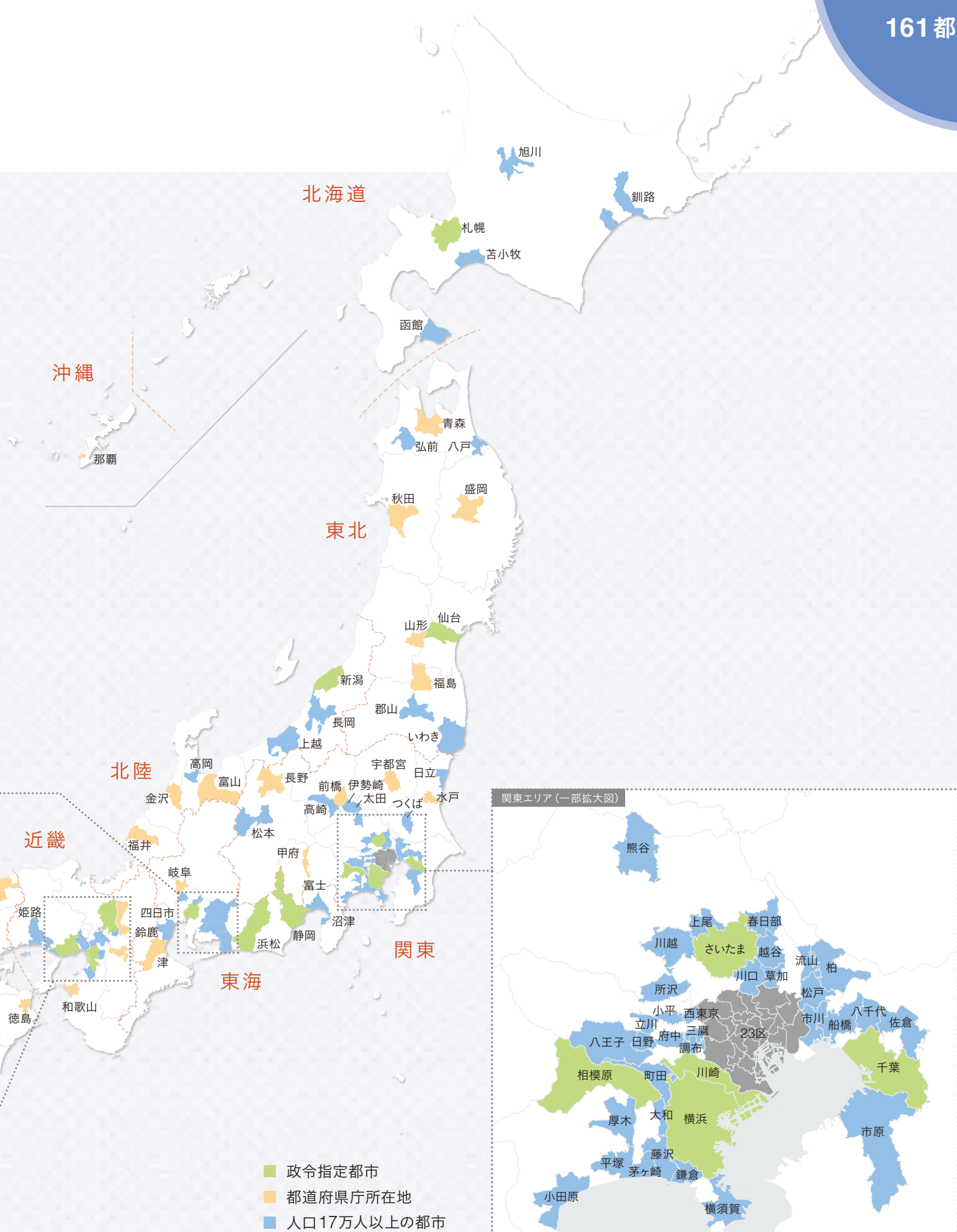
138
都市

東京
23
区

政令指定都市	都道府県庁所在地 (政令指定都市を除く)	人口17万人以上の都市
北海道 札幌		函館・旭川・釧路・苫小牧
東北 仙台	青森・盛岡・秋田・山形・福島	弘前・八戸・郡山・いわき
関東※ さいたま・千葉・横浜・川崎・相模原	水戸・宇都宮・前橋・甲府・長野	日立・つくば・高崎・伊勢崎・太田・川越・熊谷・川口・所沢・春日部・上尾・草加・越谷・市川・船橋・松戸・佐倉・柏・市原・流山・八千代・八王子・立川・三鷹・府中・調布・町田・小平・日野・西東京・横須賀・平塚・鎌倉・藤沢・小田原・茅ヶ崎・厚木・大和・松本
東海 静岡・浜松・名古屋	岐阜・津	沼津・富士・豊橋・岡崎・一宮・春日井・豊川・豊田・安城・四日市・鈴鹿
北陸 新潟	富山・金沢・福井	長岡・上越・高岡
近畿 京都・大阪・堺・神戸	大津・奈良・和歌山	宇治・岸和田・豊中・吹田・高槻・枚方・茨木・八尾・寝屋川・和泉・東大阪・姫路・尼崎・明石・西宮・伊丹・加古川・宝塚
中国 岡山・広島	鳥取・松江・山口	出雲・倉敷・呉・福山・東広島・下関
四国	徳島・高松・松山・高知	
九州 北九州・福岡・熊本	佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島	久留米・佐世保
沖縄	那覇	
千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・台東区・墨田区・江東区・品川区・目黒区・大田区・世田谷区・渋谷区・中野区・杉並区・豊島区・北区・荒川区・板橋区・練馬区・足立区・葛飾区・江戸川区		

※関東エリアに長野県、山梨県を含む





評価体系

Evaluation System

各指標をスコア化し平均したものを指標グループのスコアとし、さらにそれらを合算して分野別スコアを算出した。合計スコアは、それらを合計して2,600点満点（経済・ビジネス600点、研究・開発200点、文化・交流500点、生活・居住700点、環境300点、交通・アクセス300点）で作成した。

分野	指標グループ	指標
経済・ビジネス	6 指標グループ	1 付加価値額
		2 地域内総支出
		3 昼夜間人口比率
		4 従業者数
		5 賃金水準
		6 高等教育修了者割合
	雇用・人材	7 若手人材の転入出
		8 女性就業者割合
	人材の多様性	9 外国人就業者割合
		10 高齢者就業率
	ビジネスの活力	11 新規設立法人登記割合
		12 労働生産性
	ビジネス環境	13 完全失業率
		14 特区制度認定数
		15 対事業所サービス従業者割合
		16 新規不動産業用建築物供給面積
		17 フレキシブル・ワークプレイス密度
	財政	18 財政力指数
		19 経常収支比率の低さ
		20 実質公債費比率の低さ
		21 将来負担比率の低さ
研究・開発	2 指標グループ	22 学術・開発研究機関従業者割合
		23 トップ大学数
	研究開発成果	24 論文投稿数
		25 グローバルニッチトップ企業数
		26 特許取得数
文化・交流	5 指標グループ	27 観光地の数・評価
		28 文化財指定件数
		29 景観まちづくりへの積極度
		30 イベントの数
		31 クリエイティブ産業従業者割合
	ハード資源	32 文化・歴史・伝統への接触機会 
		33 宿泊施設客室数
		34 高級宿泊施設客室数
		35 イベントホール座席数
	ソフト資源	36 観光案内所・病院の多言語対応
		37 休日の人の多さ
	受入環境	38 行楽・観光目的の訪問の多さ
		39 国際会議・展示会開催件数
	交流実績	40 観光客誘致活動
		41 自治体 SNS フォロワー数
		42 魅力度・認知度・観光意欲度 
発信実績		

分野	指標グループ	指標
生活・居住	7 指標グループ	43 刑法犯認知件数の少なさ
		44 交通事故死亡者数の少なさ
		45 災害時の安全性
		46 空家率の低さ
		47 医師の多さ
		48 病院・診療所・病床の多さ
		49 平均寿命・健康寿命
		50 合計特殊出生率
		51 保育ニーズの充足度
		52 子どもの医療費支援
		53 教育機会の多様性
		54 外国人住民の受入体制
		55 要支援・要介護高齢者の少なさ
		56 日常生活自立支援事業利用者数の多さ
		57 電子自治体推進度
		58 居住環境の満足度 ○
		59 新規住宅供給の多さ
		60 住宅の広さ
		61 住宅のバリアフリー化率
環境	3 指標グループ	62 小売事業所密度
		63 飲食店舗密度
		64 コンビニ密度
		65 可処分所得
		66 物価水準の低さ
		67 住宅コストの低さ
		68 リサイクル率
		69 昼間人口あたりCO ₂ 排出量の少なさ
		70 再生可能エネルギー自給率
		71 自然環境の満足度 ○
交通・アクセス	3 指標グループ	72 都市地域緑地率
		73 水辺の充実度
		74 年間日照時間
		75 気温・湿度が快適な日数
		76 空気のきれいさ
		77 街路の清潔さ ○
		78 公共交通の利便性 ○
		79 鉄道駅・バス停密度
		80 交通渋滞の少なさ
		81 空港アクセス時間の短さ
	都市外アクセス	82 新幹線の利用のしやすさ
		83 インターチェンジ数
		84 都市のコンパクトさ
		85 通勤時間の短さ
	移動の容易性	86 自転車の利用のしやすさ ○

○ : アンケートに基づく指標

合計スコアの上位10都市と6分野ごとの魅力ある都市について、分野別および指標グループ別レーダーチャート※を用いてそれぞれの強みや魅力を分析した。 ※偏差値は対象138都市内で算出。

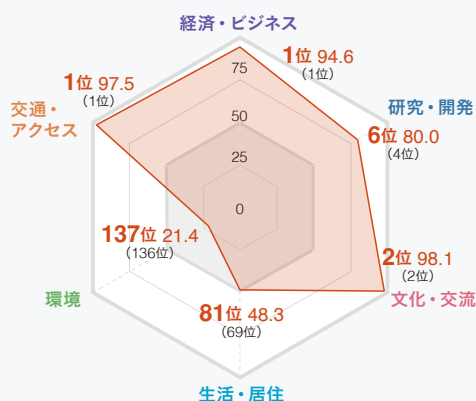
大阪市

OSAKA

経済力、交通の中心地である関西一の大都市

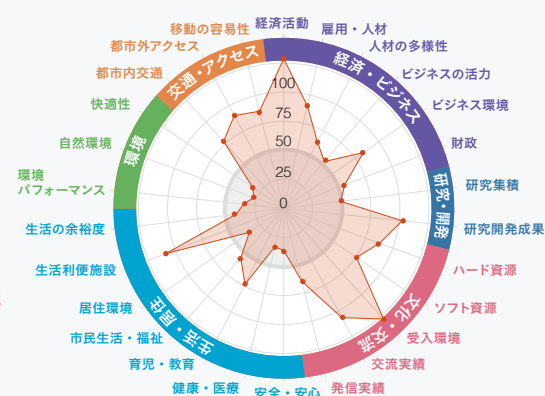
昨年に引き続き合計スコアで高スコアを獲得した大阪市は、特に**経済・ビジネス**、**交通・アクセス**でその強みを発揮した。**経済・ビジネス**では「経済活動」で圧倒的な強さを見せており、付加価値額、地域内総支出、昼夜間人口比率の全てで上位となった。**交通・アクセス**では、「都市外アクセス」で高評価を獲得し、空港アクセス時間の短さ、新幹線の利用のしやすさでスコアを伸ばした。また、**文化・交流**の「受入環境」でも高評価を得ていることから、関西圏の経済、交通の中心地であるとともに、観光客にとっても訪れやすい都市であるといえる。

分野別の順位・偏差値



2022 分野別偏差値 () 2021 の順位
偏差値 50 ライン

指標グループ別の偏差値



2022 指標グループ別偏差値 偏差値 50 ライン
※グラフの形は偏差値を表す

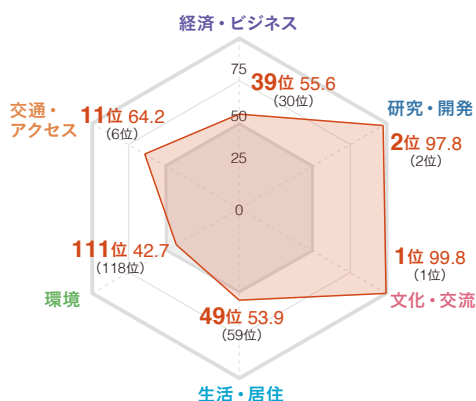
京都市

KYOTO

日本有数の文化資源を活かす取り組みと、生活・居住の伸びが注目の都市

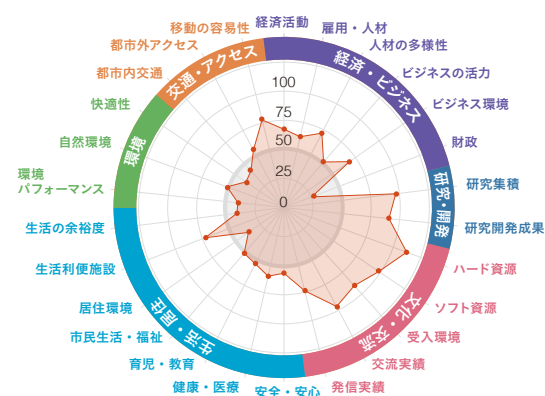
日本を代表する歴史的町並み、文化資源を有する京都市は、**文化・交流**の「ハード資源」と「ソフト資源」の両方で対象138都市中トップであり、ハードのみならずそれを活かすソフト面の評価も高いことがわかる。**研究・開発**ではトップ大学数、論文投稿数で1位を獲得し、分野1位の名古屋市とのスコア差を昨年から縮めている。**生活・居住**での分野順位は昨年から大きく上げており外国人住民の受入体制、教育機会の多様性といった指標で高評価を得ている。

分野別の順位・偏差値



2022 分野別偏差値 () 2021 の順位
偏差値 50 ライン

指標グループ別の偏差値



2022 指標グループ別偏差値 偏差値 50 ライン
※グラフの形は偏差値を表す

3 福岡市

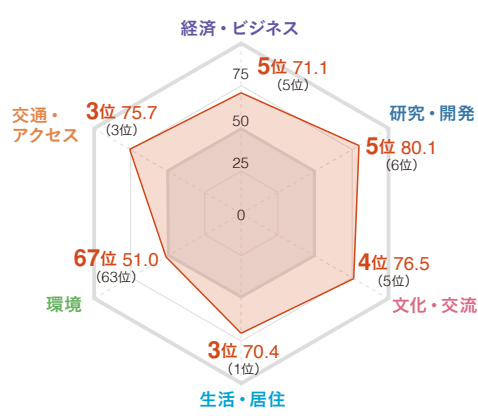
FUKUOKA



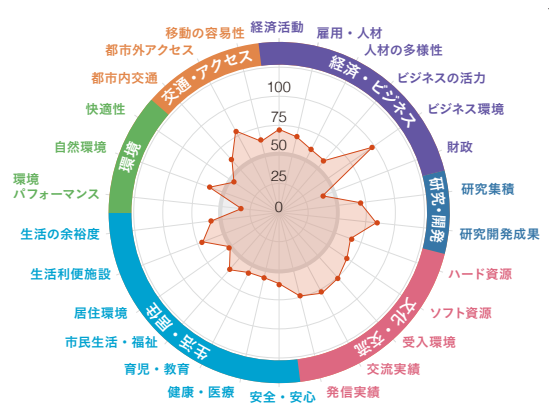
文化的な魅力をますます高める九州地方の中心都市

福岡市は「発信実績」における魅力度・認知度・観光意欲度や、「ハード資源」の観光地の数・評価、「ソフト資源」の文化・歴史・伝統への接触機会など、複数の指標でスコアを伸ばしたことで、**文化・交流**の順位を一つ上げた。同じく順位を一つ上げた**研究・開発**では論文投稿数のスコアを高めた。また、**経済・ビジネス**では順位は変わらないものの、新規設立法人登記割合や財政力指数といった指標でもスコアを伸ばしている。すでに高い総合力を有している福岡市は、経済活力と文化的魅力をさらに伸ばしていることがうかがえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



2022 分野別偏差値 () 2021 の順位
● 偏差値 50 ライン

2022 指標グループ別偏差値 ● 偏差値 50 ライン
※グラフの形は偏差値を表す

4 横浜市

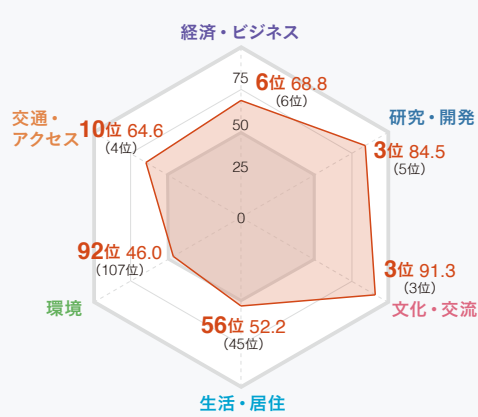
YOKOHAMA



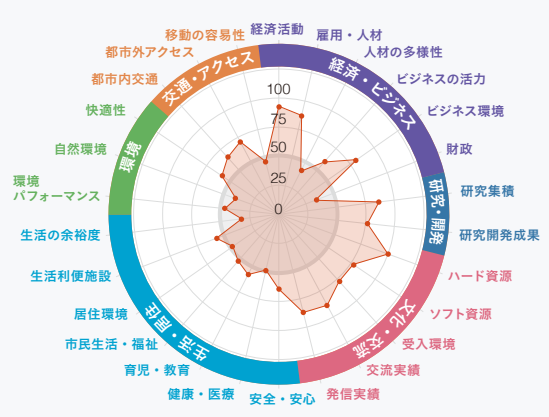
観光的魅力と研究・開発の力を伸ばした多機能都市

横浜市は、**研究・開発**と**文化・交流**で強みを発揮した。**研究・開発**はトップ大学数、論文投稿数などの指標でスコアを伸ばしており、**文化・交流**においては、行楽・観光目的の訪問の多さ、観光客誘致活動で評価を伸ばし、これらは「交流実績」および「発信実績」の高評価に繋がっている。自治体SNSフォロワー数も昨年同様上位に位置しており、横浜市の観光への政策意欲の高さがうかがえる。**経済・ビジネス**、**交通・アクセス**の評価も高いことから、横浜市の観光的魅力、R&Dの都市力も併せもつ多機能都市であるといえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



2022 分野別偏差値 () 2021 の順位
● 偏差値 50 ライン

2022 指標グループ別偏差値 ● 偏差値 50 ライン
※グラフの形は偏差値を表す

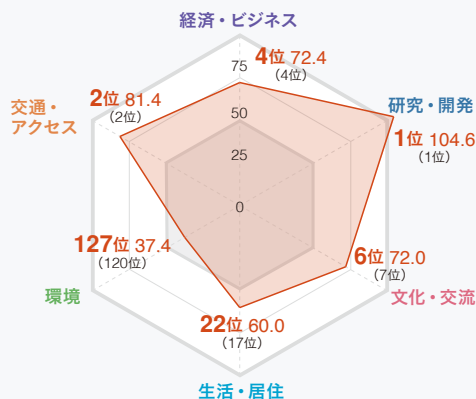
5 名古屋市

NAGOYA

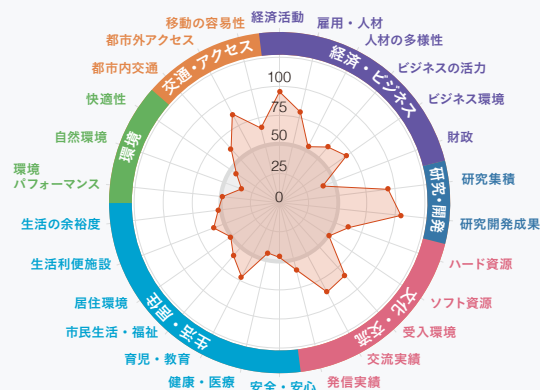
優れたアクセス性と、文化・交流の伸びに注目の創造・交流都市

日本の中央に位置する地理的優位性を活かし、**交通・アクセス**で2位を獲得した。特に「都市外アクセス」が対象138都市中2位、「移動の容易性」が7位と高順位を得た。**研究・開発**は昨年に続き首位で、「研究集積」、「研究開発成果」を構成する5指標中4指標が2位であった。昨年から順位を1つあげた**文化・交流**では、「受入環境」のイベントホール座席数、「交流実績」の行楽・観光目的の訪問の多さの評価が高く、リニア中央新幹線開業に向けた観光戦略の成果がうかがえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



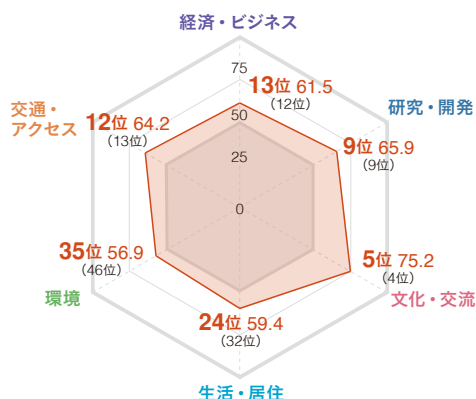
6 神戸市

KOBE

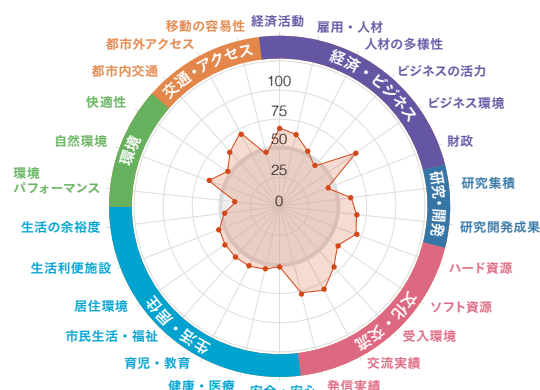
自然環境と生活環境をともに高めた文化都市

環境の評価が大都市の中では比較的高い神戸市は、自然環境の満足度、気温・湿度が快適な日数、街路の清潔さの指標でスコアを伸ばした結果、**環境**の順位が大きく向上した。**生活・居住**においては、「安全安心」や「健康・医療」、「市民生活・福祉」、「居住環境」、「生活の余裕度」の5つの指標グループで評価を高め、分野の順位を大きく伸ばした。**文化・交流**をはじめ、その他の4つの分野はすでに高い順位に位置していることから、さらにバランスのとれた都市となった。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



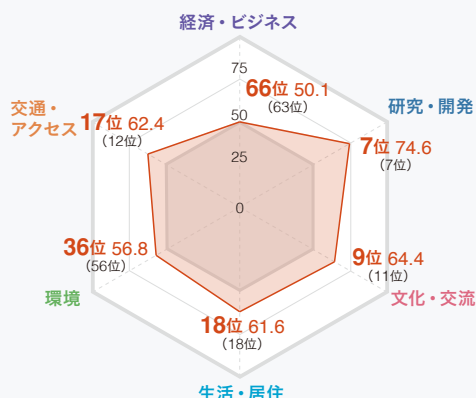
7 仙台市

SENDAI

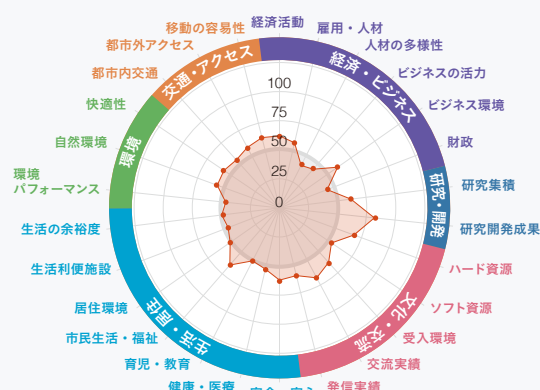
文化・交流で評価を高めた住みよい都市

仙台市は、**研究・開発**の評価が高く、今年は**文化・交流**でも順位を上げた。**研究・開発**においては、論文投稿数、グローバルニッチトップ企業数で高評価を得ており、「研究開発成果」の突出した強みに繋がっている。**文化・交流**については、観光地の数・評価と文化・歴史・伝統への接触機会でスコアを伸ばしており、仙台市が観光地としての魅力を伸ばしていることが伺える。**生活・居住**の評価も高く、「市民生活・福祉」で高評価を得るなど、住みやすい都市であることがわかる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



8 金沢市

KANAZAWA

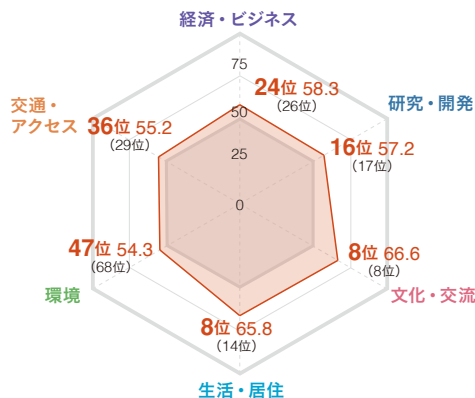


写真提供：金沢市

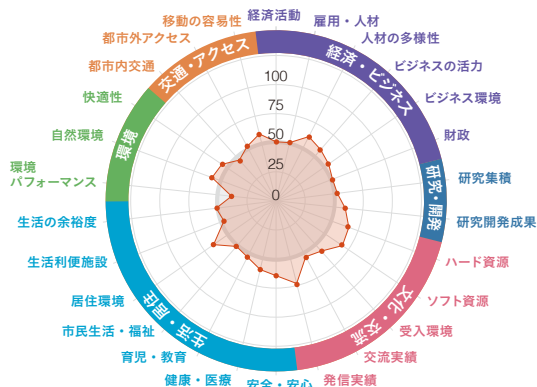
文化・歴史資産の魅力とともに、住みやすさを向上させた城下町

豊かな歴史資産と、美しい城下町を有する街並みが特徴の金沢市は、**文化・交流**の強みに加え、今年は**生活・居住**で昨年14位から8位に順位を上げた。特に「居住環境」と「安全・安心」はどちらもトップ10に入り、災害時の安全性や、居住環境の満足度で高い評価を得た。同じく順位を上げた**経済・ビジネス**、**研究・開発**では、「ビジネスの活力」における完全失業率や、「研究開発成果」のグローバルニッチトップ企業数で高評価を得ており、昨年よりもバランス力を高めた。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



9 浜松市

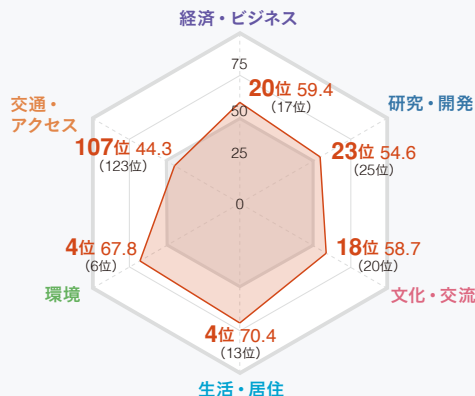
HAMAMATSU



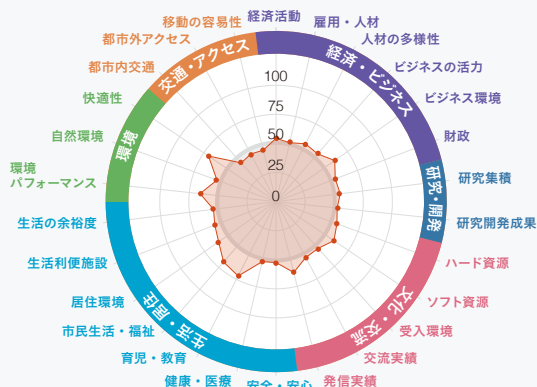
豊かな自然環境と生活環境を備えつつ成長を続ける都市

毎年**環境**で高い評価を得ている浜松市だが、今年は**生活・居住**でも高評価を得た。特に「市民生活・福祉」における電子自治体推進度や、「育児・教育」における子供の医療費支援で大きくスコアを伸ばした。また、弱みであった**交通・アクセス**においても、空港アクセス時間の短さや、自転車の利用のしやすさといった指標でスコアを伸ばした結果、順位が大きく改善した。**文化・交流**や**研究・開発**も順位を上げており、豊かな自然環境と生活環境を備えつつ、バランス力を向上させた。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



10 松本市

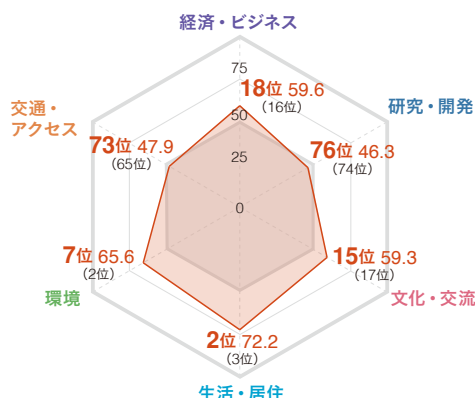
MATSUMOTO



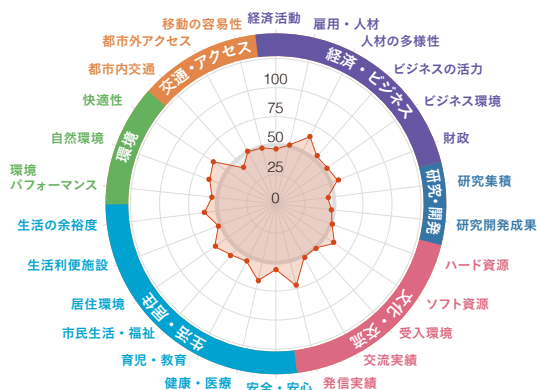
多様な世代が豊かにくらす、自然に恵まれた文化都市

生活・居住で高い評価を得た松本市は、住みよい都市であるといえる。特に、今年は保育ニーズの充足度でスコアを伸ばしており、松本市の政策によってさらに居住性を高めてきている。「健康・医療」の偏差値が高い点も特徴的で、平均寿命・健康寿命で高評価を得るなど、高齢者が元気の街であることがわかる。また今年は**文化・交流**で順位を上げており、イベントの数でスコアを伸ばした。松本市は、観光資源でも評価を上げる住みよい文化都市といえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



以下では、各分野(経済・ビジネス、研究・開発、文化・交流、生活・居住、環境、交通・アクセス)において、魅力ある6都市を分野別および指標グループ別レーダーチャート※を用いて分析した。 ※偏差値は対象138都市内で算出。

経済・ビジネス



安城市

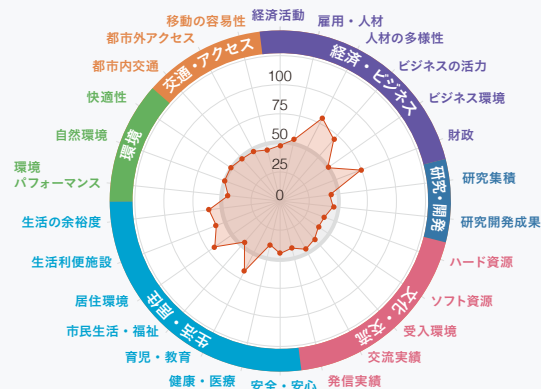
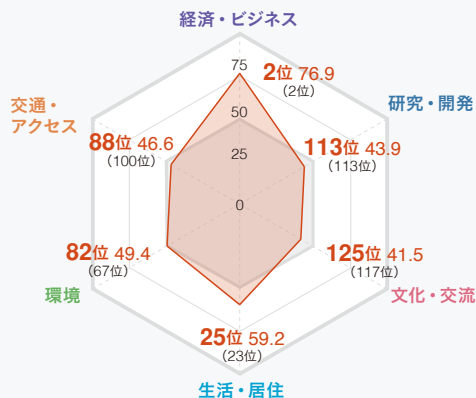
ANJO

経済の安定力が、多様な人材を呼び込み活力を生み出す持続可能な都市

自動車部品をはじめとする工業都市、そして歴史的な農業先進都市としての産業の強みをもつ安城市は、**経済・ビジネス**において2年連続で大阪に次ぐ2位を獲得した。具体的には、「人材の多様性」で1位、「財政」で2位、「ビジネスの活力」で3位など、3つの指標グループで高い評価を得ている。特に、外国人就業者割合、完全失業率、将来負担比率の低さは対象138都市中でトップであり、その雇用と財政の安定性が**経済・ビジネス**の評価を押し上げている。

分野別の順位・偏差値

指標グループ別の偏差値



研究・開発



つくば市

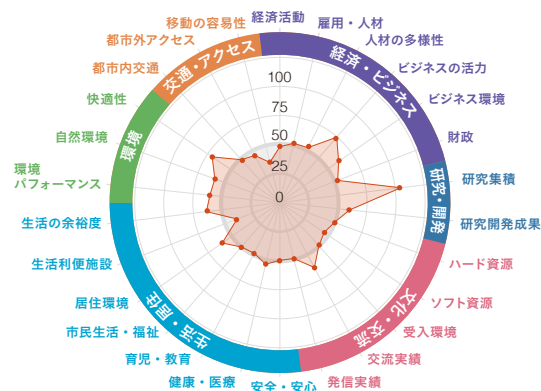
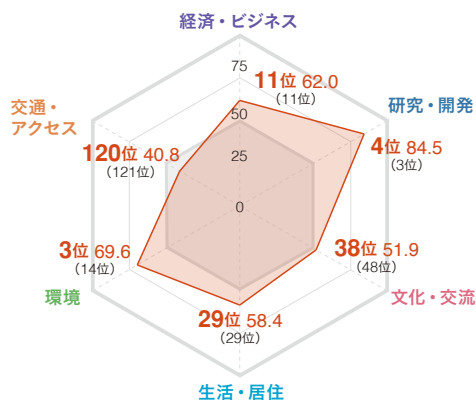
TSUKUBA

豊かな自然と科学が共存する研究学園都市

〈世界のイノベーションをリードするグローバル拠点都市〉と〈豊かな緑とゆとりある空間に囲まれた活力ある文化創造都市〉の2つを基本目標として掲げるつくば市は、**研究・開発**で上位を維持した。特に「研究集積」における学術・開発研究機関従業者割合は対象138都市中トップである。もう一つの強みである**環境**では「快適性」における空気のきれいさ、街路の清潔さ、「自然環境」における自然環境の満足度の評価が高いことから、基本目標が街の強みを反映しているといえる。

分野別の順位・偏差値

指標グループ別の偏差値



文化・交流



札幌市

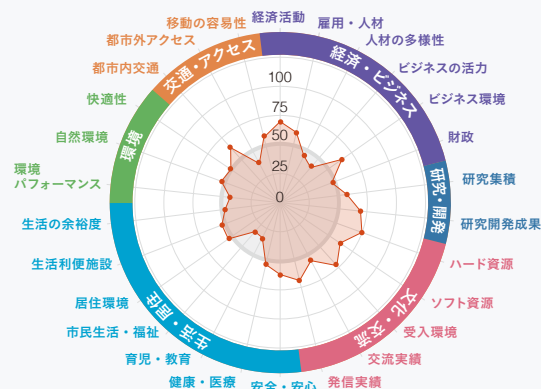
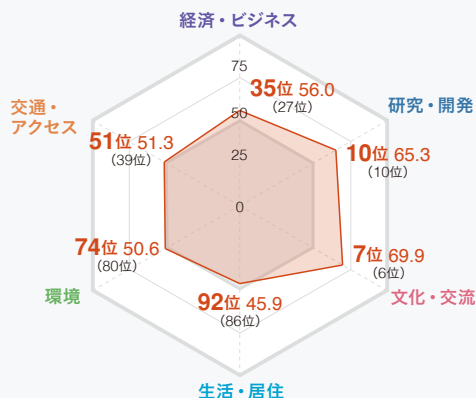
SAPPORO

文化・交流で高い評価を得た国内有数の観光都市

国内有数の観光都市である札幌市は、**文化・交流**で高評価を得ており、全ての指標グループで高い偏差値を維持している。指標別に見てみると、魅力度・認知度・観光意欲度、自治体SNSフォロワー数、高級宿泊施設客室数、景観まちづくりへの積極度の評価が高く、元来ある知名度、受入体制の整備に加え、札幌市が観光政策を推し進めていることがわかる。観光地としての魅力が今後も国内外に発信されれば、さらに人を集め、都市力が強まることが期待される。

分野別の順位・偏差値

指標グループ別の偏差値

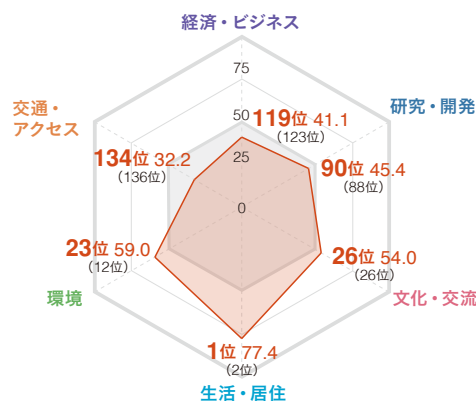




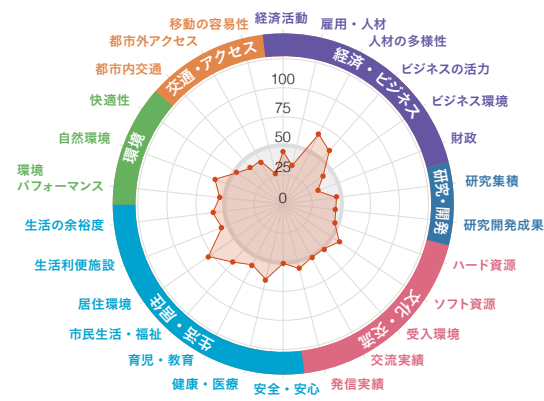
市の手厚い支援により実現した、全都市トップクラスの住環境が強い

生活・居住において対象138都市中トップを獲得した出雲市は、海、山、平野、川、湖と多彩な地勢を有する自然豊かな都市である。特筆すべきは「居住環境」にあり、住宅の広さ、住宅のバリアフリー化率はともに2位と、住環境が優れている。住宅のバリアフリー改修に伴う費用の助成や固定資産税減額措置など、市の手厚い政策の効果がみとれる。「市民生活・福祉」の評価も高く、特に日常生活自立支援事業利用者数の多さは8位であり、福祉サービスの手厚さも強みの1つである。

分野別の順位・偏差値



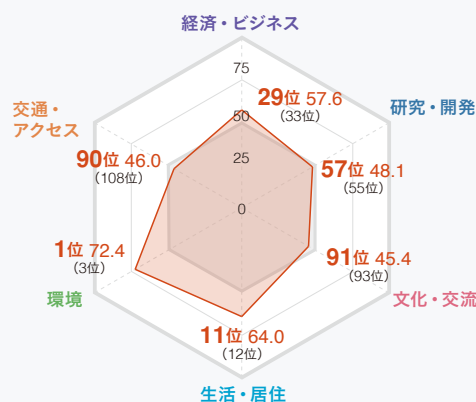
指標グループ別の偏差値



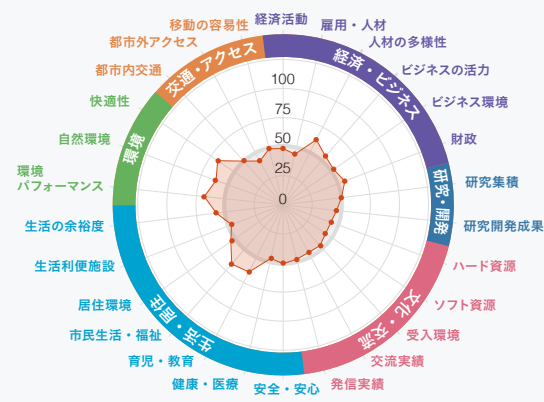
恵み豊かな自然との共生社会づくりを目指すまち

〈自然と共生し、地球環境を大切にすまち〉を目標の一つとして掲げる豊橋市は、環境で対象138都市中1位を獲得した。年間日照時間が6位と高評価である以外には突出した指標はない一方、環境の指標全てにおいて偏差値50を超えており、結果として「環境パフォーマンス」、「自然環境」、「快適性」の3つの指標グループ全てで高評価を得ることとなった。SDGs未来都市として、経済、社会、環境の調和を目指した施策が、バランス力の高さにつながっていることも考えられる。

分野別の順位・偏差値



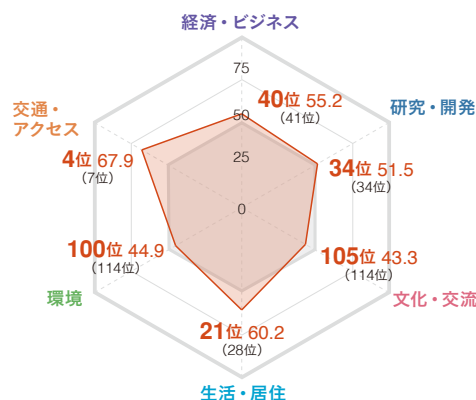
指標グループ別の偏差値



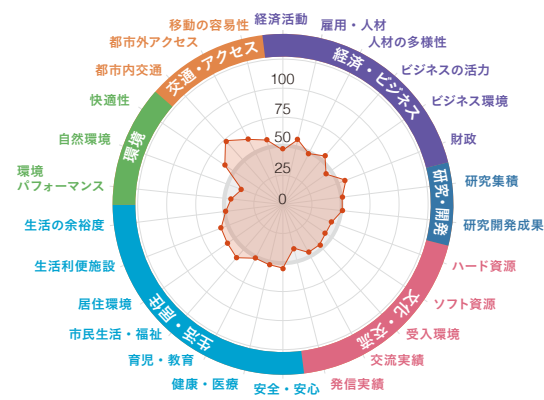
都市内外の交通アクセスが容易な都市

豊中市は、交通・アクセスで高評価を得ており、特に「都市内交通」の評価が高い。アンケート指標である公共交通の利便性で高スコアを獲得していることから、居住者から交通利便性の高い都市として評価されていることがわかる。また、昨年より評価を落とすものの、空港アクセス時間の短さは依然として高スコアであり、大阪国際空港(伊丹空港)を擁する都市の強みが表れている。都市内のみならず都市外へのアクセスも容易な豊中市は、交通・アクセスの魅力溢れる都市といえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



分野別スコア

Function-Specific Scores



経済・ビジネス

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	268.8	41	西東京市	159.6
2	安城市	220.2	42	船橋市	159.4
3	豊田市	209.5	43	長野市	159.4
4	名古屋市	207.9	44	藤沢市	158.9
5	福岡市	204.4	45	姫路市	158.4
6	横浜市	198.2	46	町田市	156.1
7	三鷹市	187.3	47	高槻市	155.9
8	立川市	185.3	48	日野市	155.6
9	四日市市	184.2	49	一宮市	155.4
10	府中市	180.1	50	鈴鹿市	155.0
11	つくば市	179.7	51	春日井市	154.5
12	岐阜市	179.3	52	静岡市	154.2
13	神戸市	178.3	53	小田原市	154.2
14	厚木市	175.9	54	佐賀市	153.8
15	調布市	174.4	55	相模原市	153.4
16	小平市	173.8	56	松戸市	153.3
17	岡崎市	173.5	57	沼津市	150.4
18	松本市	173.0	58	枚方市	149.5
19	川崎市	172.7	59	宇都宮市	149.4
20	浜松市	172.6	60	久留米市	148.6
21	東広島市	172.0	61	川口市	148.4
22	吹田市	171.7	62	津市	148.2
23	柏市	170.1	63	富山市	147.9
24	金沢市	169.7	64	佐倉市	147.7
25	岡山市	168.6	65	所沢市	147.5
26	福山市	167.9	66	仙台市	147.1
27	さいたま市	167.9	67	福井市	146.6
28	鎌倉市	167.7	68	山口市	146.5
29	豊橋市	167.6	69	茅ヶ崎市	146.1
30	八王子市	167.3	70	宮崎市	145.7
31	市川市	167.1	71	熊谷市	145.5
32	豊川市	166.8	72	倉敷市	145.3
33	流山市	166.1	73	高松市	144.8
34	茨木市	165.9	74	宝塚市	144.4
35	札幌市	163.2	75	広島市	144.1
36	八千代市	162.2	76	高崎市	143.4
37	大津市	162.2	77	富士市	142.7
38	西宮市	162.1	78	福島市	142.7
39	京都市	162.1	79	鹿児島市	141.8
40	豊中市	161.1	80	大和市	141.8

81
138
函館市,旭川市,釧路市,苫小牧市,青森市,弘前市,八戸市,盛岡市,秋田市,山形市,郡山市,いわき市,水戸市,日立市,前橋市,伊勢崎市,太田市,川越市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,千葉市,市原市,横須賀市,平塚市,新潟市,長岡市,上越市,高岡市,甲府市,宇治市,堺市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,明石市,伊丹市,加古川市,奈良市,和歌山市,鳥取市,松江市,出雲市,呉市,下関市,徳島市,松山市,高知市,北九州市,長崎市,佐世保市,熊本市,大分市,那覇市

(市区町村コード順)



研究・開発

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	名古屋市	112.7	41	長岡市	13.4
2	京都市	100.4	42	宮崎市	13.3
3	横浜市	76.1	43	徳島市	12.5
4	つくば市	76.0	44	相模原市	12.3
5	福岡市	68.0	45	津市	12.0
6	大阪市	67.9	46	藤沢市	11.9
7	仙台市	58.1	47	川越市	11.3
8	厚木市	42.5	48	佐賀市	11.3
9	神戸市	42.1	49	府中市	11.0
10	札幌市	41.0	50	久留米市	10.5
11	広島市	36.1	51	松山市	10.5
12	八王子市	31.4	52	福島市	10.2
13	川崎市	28.2	53	高槻市	10.2
14	北九州市	26.9	54	茨木市	10.1
15	吹田市	26.5	55	横須賀市	9.9
16	金沢市	26.4	56	富山市	9.8
17	新潟市	26.1	57	豊橋市	9.6
18	岡山市	22.6	58	日立市	9.6
19	さいたま市	22.5	59	小平市	9.3
20	宇都宮市	22.4	60	福井市	9.3
21	千葉市	21.7	61	長野市	8.8
22	調布市	21.6	62	日野市	8.5
23	浜松市	21.5	63	豊田市	8.3
24	三鷹市	20.5	64	鎌倉市	7.8
25	静岡市	20.0	65	堺市	7.7
26	熊本市	19.0	66	前橋市	7.7
27	函館市	18.1	67	松戸市	7.6
28	柏市	17.8	68	奈良市	7.4
29	秋田市	17.5	69	市川市	7.2
30	長崎市	17.1	70	倉敷市	7.1
31	大津市	16.6	71	高知市	7.1
32	宇治市	16.5	72	和歌山市	6.8
33	鹿児島市	16.2	73	弘前市	6.7
34	豊中市	16.0	74	尼崎市	6.5
35	枚方市	15.6	75	平塚市	6.5
36	西宮市	14.6	76	松本市	6.5
37	高松市	14.4	77	甲府市	6.5
38	東広島市	13.7	78	山形市	6.3
39	盛岡市	13.5	79	船橋市	5.8
40	岐阜市	13.4	80	鳥取市	5.7

81
138
旭川市,釧路市,苫小牧市,青森市,八戸市,郡山市,いわき市,水戸市,高崎市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,佐倉市,市原市,流山市,八千代市,立川市,町田市,西東京市,小田原市,茅ヶ崎市,大和市,上越市,高岡市,沼津市,富士市,岡崎市,一宮市,春日井市,豊川市,安城市,四日市市,鈴鹿市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,姫路市,明石市,伊丹市,加古川市,宝塚市,松江市,出雲市,呉市,福山市,下関市,山口市,佐世保市,大分市,那覇市

(市区町村コード順)



文化・交流

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	京都市	314.1	41	盛岡市	81.4
2	大阪市	305.6	42	松江市	80.9
3	横浜市	272.8	43	佐世保市	80.0
4	福岡市	201.4	44	岐阜市	79.5
5	神戸市	195.0	45	宮崎市	78.6
6	名古屋市	180.0	46	沼津市	78.0
7	札幌市	169.8	47	府中市	77.8
8	金沢市	153.6	48	高知市	76.6
9	仙台市	143.3	49	福井市	75.1
10	広島市	137.5	50	甲府市	74.8
11	長崎市	134.8	51	大津市	73.9
12	北九州市	132.8	52	いわき市	71.7
13	那覇市	126.5	53	旭川市	71.6
14	奈良市	125.5	54	大分市	70.9
15	松本市	118.4	55	鳥取市	70.8
16	鎌倉市	116.7	56	宇都宮市	70.7
17	静岡市	116.2	57	長岡市	70.7
18	浜松市	115.3	58	釧路市	70.6
19	函館市	113.0	59	下関市	70.5
20	姫路市	108.2	60	久留米市	70.1
21	長野市	101.1	61	福島市	69.3
22	熊本市	99.4	62	八王子市	68.3
23	高松市	97.9	63	郡山市	68.1
24	松山市	97.5	64	藤沢市	68.0
25	倉敷市	95.8	65	高崎市	67.8
26	出雲市	92.7	66	調布市	66.4
27	千葉市	90.6	67	青森市	66.4
28	さいたま市	90.0	68	秋田市	65.2
29	岡山市	88.5	69	徳島市	65.0
30	鹿児島市	88.4	70	宇治市	63.8
31	川崎市	87.0	71	山形市	63.7
32	立川市	86.2	72	横須賀市	63.5
33	小田原市	85.6	73	堺市	62.7
34	新潟市	84.6	74	豊田市	62.2
35	富山市	84.5	75	福山市	61.6
36	弘前市	84.0	76	岡崎市	61.3
37	川崎市	83.2	77	前橋市	59.9
38	つくば市	82.7	78	富士市	59.1
39	水戸市	82.1	79	呉市	58.8
40	和歌山市	81.9	80	山口市	58.7

81
~
138

苫小牧市,八戸市,日立市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,佐倉市,柏市,市原市,流山市,八千代市,三鷹市,町田市,小平市,日野市,西東京市,相模原市,平塚市,茅ヶ崎市,厚木市,大和市,上越市,高岡市,豊橋市,一宮市,春日井市,豊川市,安城市,津市,四日市市,鈴鹿市,岸和田市,豊中市,吹田市,高槻市,枚方市,茨木市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,明石市,西宮市,伊丹市,加古川市,宝塚市,東広島市,佐賀市

(市区町村コード順)



生活・居住

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	出雲市	367.0	41	佐賀市	305.9
2	松本市	352.9	42	富士市	305.8
3	福岡市	348.1	43	松山市	305.1
4	浜松市	348.0	44	北九州市	304.6
5	前橋市	343.9	45	流山市	304.1
6	豊田市	340.0	46	松江市	303.9
7	熊本市	339.0	47	茨木市	303.6
8	金沢市	335.6	48	福山市	303.5
9	福井市	335.4	49	京都市	303.2
10	長野市	331.5	50	佐世保市	301.9
11	豊橋市	330.6	51	三鷹市	301.2
12	岡崎市	329.9	52	高槻市	300.8
13	山形市	328.4	53	東広島市	300.5
14	吹田市	328.0	54	藤沢市	300.2
15	奈良市	327.4	55	宝塚市	300.1
16	久留米市	327.1	56	横浜市	298.6
17	岐阜市	325.7	57	上越市	298.5
18	仙台市	324.2	58	倉敷市	297.7
19	鹿児島市	322.8	59	大津市	297.3
20	長崎市	322.7	60	明石市	296.4
21	豊中市	320.5	61	水戸市	296.4
22	名古屋市	319.9	62	徳島市	296.2
23	甲府市	318.3	63	春日井市	295.2
24	神戸市	318.3	64	長岡市	294.6
25	安城市	317.6	65	所沢市	293.5
26	広島市	316.2	66	山口市	293.4
27	宮崎市	315.9	67	川崎市	293.0
28	高崎市	315.9	68	厚木市	292.8
29	つくば市	315.4	69	柏市	292.6
30	静岡市	314.7	70	福島市	292.4
31	西宮市	314.3	71	沼津市	292.3
32	鳥取市	312.9	72	鈴鹿市	292.1
33	豊川市	311.4	73	四日市市	291.9
34	富山市	311.1	74	宇都宮市	291.7
35	高松市	311.0	75	鎌倉市	291.7
36	岡山市	310.6	76	高岡市	291.0
37	さいたま市	309.7	77	枚方市	289.2
38	一宮市	308.0	78	秋田市	288.9
39	大分市	307.9	79	津市	288.8
40	新潟市	307.6	80	盛岡市	288.5

81
~
138

札幌市,函館市,旭川市,釧路市,苫小牧市,青森市,弘前市,八戸市,郡山市,いわき市,日立市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,千葉市,市川市,船橋市,松戸市,佐倉市,市原市,八千代市,八王子市,立川市,府中市,調布市,町田市,小平市,日野市,西東京市,川崎市,相模原市,横須賀市,平塚市,小田原市,茅ヶ崎市,大和市,宇治市,大阪市,堺市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,姫路市,尼崎市,伊丹市,加古川市,和歌山市,呉市,下関市,高知市,那覇市

(市区町村コード順)

138
都市
分野別
スコア

分野別スコア

Function-Specific Scores



環境

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	豊橋市	189.6	41	佐世保市	158.1
2	鎌倉市	185.1	42	松山市	157.2
3	つくば市	184.2	43	秋田市	156.7
4	浜松市	180.9	44	大津市	156.4
5	豊川市	179.5	45	鹿児島市	155.8
6	横須賀市	177.4	46	府中市	155.4
7	松本市	176.8	47	金沢市	155.4
8	松江市	174.1	48	岡崎市	155.3
9	前橋市	172.7	49	立川市	154.9
10	津市	172.7	50	静岡市	154.7
11	富山市	171.6	51	姫路市	154.4
12	山口市	171.4	52	新潟市	154.2
13	いわき市	171.3	53	岡山市	154.1
14	呉市	171.0	54	平塚市	153.5
15	宮崎市	169.7	55	茅ヶ崎市	153.2
16	高崎市	168.8	56	高槻市	153.0
17	宝塚市	168.2	57	佐賀市	152.4
18	日立市	167.8	58	千葉市	151.7
19	豊田市	167.7	59	徳島市	151.3
20	鳥取市	167.0	60	日野市	151.1
21	藤沢市	165.4	61	相模原市	151.1
22	佐倉市	164.7	62	富士市	151.0
23	出雲市	164.3	63	小平市	150.8
24	八王子市	163.9	64	太田市	150.2
25	沼津市	163.6	65	茨木市	150.0
26	高知市	163.2	66	三鷹市	150.0
27	長野市	163.0	67	福岡市	149.3
28	西宮市	162.3	68	和泉市	149.3
29	小田原市	162.2	69	甲府市	149.1
30	熊本市	161.7	70	流山市	149.1
31	水戸市	161.7	71	倉敷市	149.0
32	下関市	161.6	72	北九州市	149.0
33	高松市	161.6	73	厚木市	148.7
34	東広島市	161.5	74	札幌市	148.4
35	神戸市	160.3	75	町田市	148.3
36	仙台市	160.1	76	大分市	148.2
37	調布市	160.1	77	明石市	148.1
38	奈良市	159.1	78	宇治市	148.1
39	岐阜市	158.4	79	伊勢崎市	147.9
40	盛岡市	158.4	80	所沢市	147.7

81
138
函館市,旭川市,釧路市,苫小牧市,青森市,弘前市,八戸市,山形市,福島市,郡山市,宇都宮市,さいたま市,川崎市,熊谷市,川口市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,柏市,市原市,八千代市,西東京市,横浜市,川崎市,大和市,長岡市,上越市,高岡市,福井市,名古屋市,一宮市,春日井市,安城市,四日市市,鈴鹿市,京都市,大阪市,堺市,岸和田市,豊中市,吹田市,枚方市,八尾市,寝屋川市,東大阪市,尼崎市,伊丹市,加古川市,和歌山市,広島市,福山市,久留米市,長崎市,那覇市

(市区町村コード順)



交通・アクセス

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	218.8	41	那覇市	132.0
2	名古屋市	187.6	42	釧路市	131.7
3	福岡市	176.5	43	枚方市	131.5
4	豊中市	161.3	44	久留米市	131.4
5	伊丹市	161.2	45	旭川市	130.6
6	尼崎市	160.2	46	奈良市	130.2
7	川崎市	159.4	47	宇治市	130.2
8	千葉市	157.0	48	日野市	130.0
9	静岡市	156.0	49	春日井市	129.3
10	横浜市	154.9	50	一宮市	129.2
11	京都市	154.3	51	札幌市	129.2
12	神戸市	154.2	52	姫路市	128.4
13	吹田市	153.6	53	郡山市	128.3
14	広島市	153.5	54	宝塚市	128.2
15	府中市	151.8	55	平塚市	128.0
16	北九州市	150.9	56	市原市	127.9
17	仙台市	150.8	57	藤沢市	127.8
18	堺市	148.1	58	明石市	127.5
19	東大阪市	147.1	59	岐阜市	127.2
20	茨木市	146.9	60	船橋市	126.7
21	西宮市	145.5	61	高知市	126.1
22	三鷹市	143.9	62	和泉市	126.0
23	調布市	143.4	63	横須賀市	125.9
24	さいたま市	143.2	64	岡山市	125.7
25	立川市	142.6	65	茅ヶ崎市	125.1
26	高槻市	141.7	66	大和市	125.0
27	秋田市	140.0	67	高松市	124.8
28	川口市	138.4	68	東広島市	124.6
29	八尾市	138.4	69	草加市	123.8
30	鹿児島市	138.1	70	熊本市	123.2
31	盛岡市	137.9	71	弘前市	122.8
32	函館市	137.4	72	八千代市	122.6
33	寝屋川市	137.3	73	松本市	122.6
34	岸和田市	137.0	74	富山市	122.3
35	苫小牧市	136.9	75	西東京市	122.0
36	金沢市	136.8	76	大津市	122.0
37	新潟市	136.5	77	八戸市	121.9
38	市川市	136.5	78	山口市	121.8
39	青森市	136.3	79	豊田市	121.7
40	松山市	132.2	80	沼津市	121.5

81
138
山形市,福島市,いわき市,水戸市,日立市,つくば市,宇都宮市,前橋市,高崎市,伊勢崎市,太田市,川崎市,熊谷市,所沢市,春日部市,上尾市,越谷市,松戸市,佐倉市,柏市,流山市,八王子市,町田市,小平市,相模原市,鎌倉市,小田原市,厚木市,長岡市,上越市,高岡市,福井市,甲府市,長野市,浜松市,富士市,豊橋市,岡崎市,豊川市,安城市,津市,四日市市,鈴鹿市,加古川市,和歌山市,鳥取市,松江市,出雲市,倉敷市,呉市,福山市,下関市,徳島市,佐賀市,長崎市,佐世保市,大分市,宮崎市

(市区町村コード順)

合計スコア

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	1,242.8	41	安城市	838.6
2	京都市	1,167.7	42	新潟市	838.0
3	福岡市	1,147.7	43	豊中市	837.7
4	横浜市	1,140.5	44	藤沢市	832.2
5	名古屋市	1,131.7	45	調布市	831.8
6	神戸市	1,048.1	46	久留米市	830.0
7	仙台市	983.6	47	大津市	828.3
8	金沢市	977.3	48	厚木市	827.5
9	浜松市	954.0	49	東広島市	823.0
10	松本市	950.1	50	八王子市	822.6
11	つくば市	946.9	51	福井市	818.6
12	札幌市	933.4	52	豊川市	817.2
13	広島市	932.0	53	倉敷市	813.5
14	静岡市	915.8	54	前橋市	807.8
15	豊田市	909.4	55	松江市	807.5
16	北九州市	887.3	56	那覇市	807.0
17	岐阜市	883.4	57	茨木市	806.9
18	熊本市	881.1	58	沼津市	806.8
19	長野市	879.7	59	盛岡市	802.5
20	奈良市	874.7	60	鳥取市	801.8
21	鎌倉市	872.5	61	高槻市	801.1
22	岡山市	870.0	62	佐賀市	799.6
23	豊橋市	867.9	63	宝塚市	798.5
24	吹田市	864.2	64	山口市	796.6
25	鹿児島市	863.0	65	高崎市	794.7
26	府中市	862.2	66	甲府市	794.3
27	さいたま市	859.4	67	山形市	790.9
28	三鷹市	856.8	68	津市	790.2
29	西宮市	855.5	69	大分市	789.9
30	高松市	854.4	70	川越市	786.9
31	立川市	852.1	71	水戸市	785.5
32	川崎市	850.3	72	小田原市	785.4
33	富山市	847.2	73	宇治市	784.3
34	岡崎市	845.2	74	宇都宮市	784.0
35	宮崎市	844.4	75	秋田市	780.9
36	千葉市	843.6	76	福山市	780.9
37	出雲市	843.6	77	四日市市	780.6
38	長崎市	843.5	78	富士市	775.6
39	松山市	840.9	79	流山市	770.7
40	姫路市	839.5	80	柏市	770.4

81
～
138

函館市,旭川市,釧路市,苫小牧市,青森市,弘前市,八戸市,福島市,郡山市,いわき市,日立市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,佐倉市,市原市,八千代市,町田市,小平市,日野市,西東京市,相模原市,横須賀市,平塚市,茅ヶ崎市,大和市,長岡市,上越市,高岡市,一宮市,春日井市,鈴鹿市,堺市,岸和田市,枚方市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,明石市,伊丹市,加古川市,和歌山市,呉市,下関市,徳島市,高知市,佐世保市

(市区町村コード順)

アクター別スコア

Actor-Specific Scores

分野別に加え、都市の特性を「人」の視点で評価するために、本調査では、「アクター」（シングル、ファミリー、シニア、観光客、経営者、従業者）を6設定した。アクター別スコア算出のために、まずは、各アクターが都市に求めるニーズを設定し、次に、86指標の中からそのニーズに対応した指標を抽出し、その平均値をスコアとした。



シングル

指標数23/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	福岡市	55.0	41	長野市	43.7
2	豊中市	52.1	42	豊川市	43.5
3	大阪市	51.6	43	府中市	43.5
4	神戸市	49.2	44	秋田市	43.4
5	名古屋市	49.0	45	明石市	43.4
6	広島市	48.9	46	鳥取市	43.3
7	吹田市	48.6	47	堺市	43.3
8	西宮市	48.0	48	高槻市	43.2
9	静岡市	47.8	49	山口市	43.2
10	鹿児島市	47.6	50	前橋市	43.1
11	松本市	47.6	51	大分市	43.0
12	仙台市	47.3	52	新潟市	43.0
13	浜松市	46.9	53	調布市	42.9
14	金沢市	46.7	54	宝塚市	42.9
15	熊本市	46.6	55	佐賀市	42.8
16	横浜市	46.4	56	長崎市	42.7
17	奈良市	46.2	57	一宮市	42.5
18	川崎市	46.2	58	盛岡市	42.3
19	京都市	46.0	59	福井市	42.2
20	岐阜市	46.0	60	姫路市	42.2
21	豊橋市	46.0	61	松江市	42.0
22	松山市	46.0	62	福山市	41.9
23	北九州市	45.7	63	津市	41.7
24	高松市	45.5	64	高崎市	41.6
25	豊田市	45.5	65	茅ヶ崎市	41.6
26	三鷹市	45.5	66	川越市	41.5
27	茨木市	45.2	67	流山市	41.5
28	東広島市	45.1	68	札幌市	41.4
29	千葉市	45.1	69	鎌倉市	41.3
30	伊丹市	45.0	70	枚方市	41.3
31	さいたま市	44.9	71	高知市	41.2
32	藤沢市	44.5	72	倉敷市	41.2
33	岡山市	44.5	73	日立市	41.2
34	久留米市	44.3	74	呉市	41.2
35	つくば市	44.2	75	厚木市	41.2
36	甲府市	44.2	76	佐倉市	41.1
37	岡崎市	44.0	77	大和市	40.9
38	那覇市	43.9	78	沼津市	40.9
39	出雲市	43.8	79	八千代市	40.8
40	宮崎市	43.8	80	市川市	40.7

81 函館市,旭川市,釧路市,苫小牧市,青森市,弘前市,八戸市,山形市,福島市,郡山市,いわき市,水戸市,宇都宮市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,船橋市,松戸市,柏市,市原市,八王子市,立川市,町田市,小平市,日野市,西東京市,相模原市,横須賀市,平塚市,小田原市,長岡市,上越市,138 富山市,高岡市,富山市,春日井市,安城市,四日市市,鈴鹿市,大津市,宇治市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,加古川市,和歌山市,下関市,徳島市,佐世保市 (市区町村コード順)



ファミリー

指標数40/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	福岡市	53.9	41	高槻市	45.1
2	浜松市	50.1	42	高崎市	45.1
3	松本市	49.8	43	岡崎市	45.1
4	金沢市	49.7	44	甲府市	45.0
5	神戸市	49.6	45	岡山市	45.0
6	出雲市	49.6	46	東広島市	44.7
7	仙台市	49.4	47	姫路市	44.6
8	熊本市	49.1	48	千葉市	44.6
9	鹿児島市	48.9	49	茨木市	44.4
10	岐阜市	48.6	50	佐賀市	44.4
11	豊橋市	48.4	51	高知市	44.3
12	静岡市	48.4	52	山形市	44.3
13	つくば市	48.0	53	藤沢市	44.1
14	豊中市	47.9	54	水戸市	44.1
15	宮崎市	47.9	55	佐世保市	44.0
16	大阪市	47.8	56	弘前市	44.0
17	豊田市	47.7	57	三鷹市	44.0
18	名古屋市	47.5	58	札幌市	44.0
19	松山市	47.5	59	さいたま市	43.9
20	高松市	47.5	60	福山市	43.8
21	久留米市	47.4	61	津市	43.7
22	富山市	47.3	62	府中市	43.7
23	前橋市	47.2	63	大分市	43.6
24	鳥取市	47.1	64	宝塚市	43.6
25	広島市	47.1	65	那覇市	43.6
26	西宮市	47.0	66	明石市	43.4
27	奈良市	46.9	67	沼津市	43.3
28	北九州市	46.8	68	一宮市	43.3
29	横浜市	46.6	69	和歌山市	43.2
30	京都市	46.6	70	富士市	43.2
31	吹田市	46.1	71	大津市	43.1
32	長野市	46.1	72	郡山市	43.1
33	新潟市	46.1	73	堺市	43.0
34	長崎市	45.9	74	徳島市	43.0
35	豊川市	45.7	75	川崎市	42.9
36	松江市	45.7	76	安城市	42.7
37	秋田市	45.5	77	青森市	42.5
38	山口市	45.5	78	八戸市	42.5
39	福井市	45.5	79	長岡市	42.4
40	盛岡市	45.3	80	福島市	42.3

函館市,旭川市,釧路市,苫小牧市,いわき市,日立市,宇都宮市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,佐倉市,柏市,市原市,流山市,八千代市,八王子市,立川市,調布市,町田市,小平市,日野市,西東京市,相模原市,横須賀市,平塚市,鎌倉市,小田原市,茅ヶ崎市,138 厚木市,大和市,上越市,高岡市,春日井市,四日市市,鈴鹿市,宇治市,岸和田市,枚方市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,伊丹市,加古川市,倉敷市,呉市,下関市 (市区町村コード順)



シニア

指標数36/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	松本市	52.8	41	東広島市	46.3
2	福岡市	52.7	42	富山市	46.2
3	仙台市	51.2	43	八王子市	46.2
4	浜松市	51.1	44	福井市	46.2
5	金沢市	50.6	45	盛岡市	45.9
6	豊橋市	50.6	46	高松市	45.7
7	西宮市	50.1	47	北九州市	45.7
8	前橋市	49.6	48	立川市	45.7
9	熊本市	49.6	49	鳥取市	45.7
10	広島市	49.5	50	岡山市	45.6
11	神戸市	49.4	51	山口市	45.6
12	出雲市	49.4	52	鎌倉市	45.5
13	静岡市	49.4	53	沼津市	45.5
14	長野市	49.2	54	高知市	45.3
15	豊中市	48.7	55	山形市	45.3
16	吹田市	48.7	56	調布市	45.3
17	三鷹市	48.6	57	名古屋市	45.3
18	宮崎市	48.5	58	甲府市	45.3
19	つくば市	48.4	59	新潟市	45.2
20	岐阜市	48.2	60	千葉市	45.2
21	藤沢市	48.0	61	佐賀市	45.2
22	豊田市	48.0	62	厚木市	45.1
23	奈良市	47.9	63	津市	44.9
24	鹿児島市	47.7	64	川崎市	44.8
25	横浜市	47.4	65	水戸市	44.8
26	高崎市	47.1	66	大津市	44.8
27	京都市	47.1	67	明石市	44.8
28	豊川市	47.1	68	相模原市	44.8
29	府中市	47.1	69	日立市	44.6
30	長崎市	47.1	70	佐世保市	44.5
31	岡崎市	47.0	71	小平市	44.5
32	茅ヶ崎市	46.6	72	秋田市	44.3
33	松山市	46.5	73	安城市	44.2
34	松江市	46.5	74	さいたま市	44.2
35	茨木市	46.4	75	佐倉市	44.2
36	高槻市	46.4	76	宇治市	44.2
37	宝塚市	46.4	77	富士市	44.2
38	札幌市	46.3	78	那覇市	44.0
39	久留米市	46.3	79	呉市	43.8
40	大分市	46.3	80	姫路市	43.8

81 函館市,旭川市,釧路市,苫小牧市,青森市,弘前市,八戸市,福島市,郡山市,いわき市,宇都宮市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,柏市,市原市,流山市,八千代市,町田市,日野市,西東京市,横須賀市,平塚市,小田原市,大和市,長岡市,上越市,高岡市,一宮市,春日井市,四日市市,鈴鹿市,大阪市,堺市,岸和田市,枚方市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,伊丹市,加古川市,和歌山市,倉敷市,福山市,下関市,徳島市

(市区町村コード順)



観光客

指標数33/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	53.7	41	岡山市	28.9
2	京都市	52.1	42	岐阜市	28.7
3	横浜市	49.9	43	富山市	28.6
4	福岡市	44.4	44	宮崎市	28.5
5	神戸市	43.3	45	高知市	28.4
6	名古屋市	40.2	46	弘前市	28.1
7	金沢市	37.0	47	大津市	28.1
8	仙台市	37.0	48	山口市	28.1
9	広島市	36.9	49	八王子市	28.0
10	札幌市	36.7	50	倉敷市	27.9
11	静岡市	34.8	51	水戸市	27.7
12	奈良市	34.2	52	宝塚市	27.7
13	松本市	34.1	53	三鷹市	27.7
14	鎌倉市	33.4	54	沼津市	27.6
15	浜松市	33.2	55	川越市	27.6
16	北九州市	32.8	56	大分市	27.6
17	長崎市	32.0	57	豊田市	27.6
18	千葉市	31.9	58	和歌山市	27.4
19	那覇市	31.6	59	豊橋市	27.4
20	高松市	31.1	60	秋田市	27.4
21	府中市	31.0	61	久留米市	27.3
22	川崎市	30.9	62	佐世保市	27.1
23	長野市	30.5	63	豊中市	27.1
24	盛岡市	30.3	64	東広島市	27.1
25	熊本市	30.3	65	吹田市	27.0
26	立川市	30.3	66	宇治市	27.0
27	つくば市	30.2	67	鳥取市	26.9
28	姫路市	30.2	68	高槻市	26.8
29	鹿児島市	30.2	69	呉市	26.7
30	新潟市	29.6	70	甲府市	26.7
31	松山市	29.6	71	佐倉市	26.3
32	藤沢市	29.6	72	長岡市	26.3
33	西宮市	29.5	73	茅ヶ崎市	26.2
34	松江市	29.5	74	下関市	26.2
35	横須賀市	29.4	75	高崎市	26.0
36	調布市	29.3	76	明石市	25.9
37	さいたま市	29.3	77	青森市	25.9
38	出雲市	29.2	78	岡崎市	25.8
39	函館市	29.1	79	福井市	25.8
40	小田原市	29.0	80	佐賀市	25.6

旭川市,釧路市,苫小牧市,八戸市,山形市,福島市,郡山市,いわき市,日立市,宇都宮市,前橋市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,柏市,市原市,流山市,八千代市,町田市,小平市,日野市,西東京市,相模原市,平塚市,厚木市,大和市,上越市,高岡市,富士市,一宮市,春日井市,豊川市,安城市,津市,四日市市,鈴鹿市,堺市,岸和田市,枚方市,茨木市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,伊丹市,加古川市,福山市,徳島市

(市区町村コード順)

アクター別スコア

Actor-Specific Scores



経営者

指標数36/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	55.1	41	姫路市	26.3
2	名古屋市	44.7	42	柏市	26.1
3	福岡市	42.1	43	北九州市	26.0
4	横浜市	38.5	44	小平市	26.0
5	京都市	37.3	45	藤沢市	25.7
6	神戸市	36.7	46	高槻市	25.7
7	豊田市	32.2	47	長野市	25.7
8	札幌市	32.1	48	鈴鹿市	25.6
9	仙台市	31.7	49	高松市	25.6
10	安城市	31.0	50	船橋市	25.5
11	川崎市	30.7	51	宇都宮市	25.5
12	金沢市	30.4	52	富山市	25.4
13	三鷹市	29.8	53	相模原市	25.4
14	吹田市	29.8	54	新潟市	25.3
15	広島市	29.7	55	熊本市	25.2
16	つくば市	29.4	56	郡山市	25.1
17	府中市	29.2	57	宮崎市	25.1
18	岡山市	29.1	58	松山市	25.1
19	四日市市	29.1	59	伊丹市	25.1
20	東広島市	28.9	60	日野市	25.0
21	立川市	28.8	61	西東京市	25.0
22	浜松市	28.7	62	八千代市	24.9
23	さいたま市	28.5	63	流山市	24.9
24	厚木市	28.4	64	山口市	24.8
25	静岡市	28.2	65	春日井市	24.8
26	豊中市	28.2	66	福島市	24.8
27	松本市	28.1	67	津市	24.7
28	西宮市	28.0	68	小田原市	24.5
29	岐阜市	28.0	69	一宮市	24.5
30	調布市	27.9	70	福井市	24.5
31	茨木市	27.7	71	枚方市	24.5
32	大津市	27.3	72	盛岡市	24.5
33	八王子市	27.3	73	倉敷市	24.5
34	岡崎市	27.1	74	佐賀市	24.3
35	市川市	27.1	75	鎌倉市	24.2
36	福山市	26.9	76	町田市	24.2
37	豊橋市	26.8	77	沼津市	24.2
38	千葉市	26.6	78	久留米市	24.1
39	鹿児島市	26.4	79	佐倉市	24.1
40	豊川市	26.3	80	大分市	24.1

81 函館市,旭川市,釧路市,苫小牧市,青森市,弘前市,八戸市,秋田市,山形市,いわき市,水戸市,日立市,前橋市,高崎市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,松戸市,市原市,横須賀市,平塚市,茅ヶ崎市,大和市,長岡市,上越市,高岡市,甲府市,富士市,宇治市,堺市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,明石市,加古川市,宝塚市,奈良市,和歌山市,鳥取市,松江市,出雲市,呉市,下関市,徳島市,高知市,長崎市,佐世保市,那覇市

(市区町村コード順)



従業者

指標数19/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	51.1	41	宮崎市	30.2
2	名古屋市	41.6	42	東大阪市	30.1
3	福岡市	38.6	43	堺市	29.8
4	京都市	37.3	44	仙台市	29.8
5	広島市	34.8	45	松山市	29.7
6	横浜市	34.4	46	長野市	29.6
7	川崎市	33.6	47	立川市	29.6
8	神戸市	33.6	48	高岡市	29.6
9	豊中市	33.1	49	下関市	29.5
10	久留米市	32.9	50	豊橋市	29.5
11	金沢市	32.9	51	さいたま市	29.3
12	静岡市	32.8	52	函館市	29.3
13	安城市	32.7	53	茨木市	29.3
14	岐阜市	32.6	54	鳥取市	29.3
15	鹿児島市	32.5	55	調布市	29.2
16	東広島市	32.3	56	川口市	29.2
17	三鷹市	32.0	57	山形市	29.2
18	富山市	31.9	58	つくば市	29.2
19	松本市	31.9	59	八千代市	29.0
20	高知市	31.9	60	浜松市	29.0
21	尼崎市	31.7	61	秋田市	28.9
22	福井市	31.6	62	豊川市	28.6
23	佐賀市	31.5	63	市川市	28.5
24	高松市	31.5	64	豊田市	28.4
25	西宮市	31.3	65	四日市市	28.3
26	北九州市	31.2	66	奈良市	28.3
27	岡山市	31.1	67	札幌市	28.3
28	弘前市	31.1	68	長岡市	28.3
29	千葉市	31.1	69	呉市	28.3
30	松江市	31.0	70	福山市	28.3
31	津市	30.9	71	高槻市	28.3
32	府中市	30.9	72	倉敷市	27.9
33	出雲市	30.8	73	福島市	27.6
34	新潟市	30.8	74	姫路市	27.6
35	吹田市	30.7	75	甲府市	27.6
36	一宮市	30.7	76	岸和田市	27.5
37	盛岡市	30.6	77	長崎市	27.4
38	山口市	30.6	78	春日井市	27.4
39	伊丹市	30.5	79	徳島市	27.3
40	熊本市	30.4	80	鈴鹿市	27.2

旭川市,釧路市,苫小牧市,青森市,八戸市,郡山市,いわき市,水戸市,日立市,宇都宮市,前橋市,高崎市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,船橋市,松戸市,佐倉市,柏市,市原市,流山市,八王子市,町田市,小平市,日野市,西東京市,相模原市,横須賀市,平塚市,鎌倉市,藤沢市,小田原市,茅ヶ崎市,厚木市,大和市,上越市,沼津市,富士市,岡崎市,大津市,宇治市,枚方市,八尾市,寝屋川市,和泉市,明石市,加古川市,宝塚市,和歌山市,佐世保市,大分市,那覇市

(市区町村コード順)

合計スコアの上位3区について、分野別および指標グループ別レーダーチャート※を用いてそれぞれの強みや魅力を分析した。 ※偏差値は東京23区内で算出。

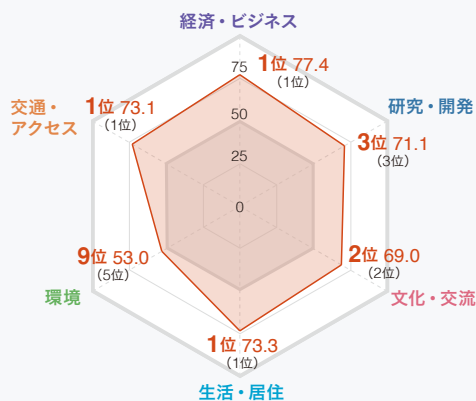
1 千代田区

CHIYODA-CITY

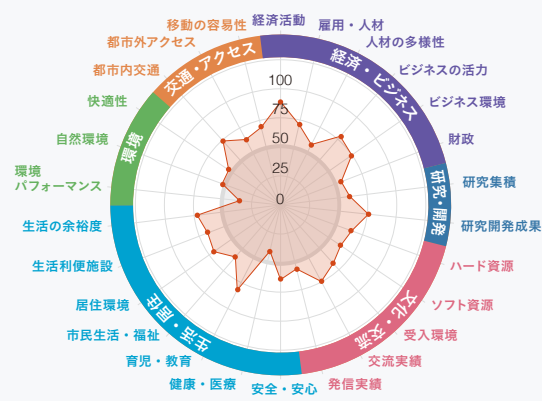
国内一のビジネス環境と、充実した子育て環境を併せ持つ都市

官公街、オフィス街に加え、住宅街、下町風情の残る商業エリアなど多様な側面をもつ千代田区は、**経済・ビジネス**、**生活・居住**、**交通・アクセス**の3つの分野で対象23区中1位を獲得している。**経済・ビジネス**における「経済活動」、「ビジネスの活力」、「ビジネス環境」の3つの指標グループでトップでありながら、**生活・居住**の「育児・教育」においても最も評価が高く、日本の経済活動やビジネスの中心地であると同時に、子育て環境も整っていることがわかる。

分野別の順位・偏差値



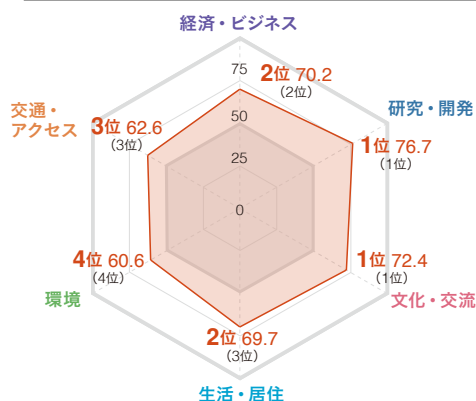
指標グループ別の偏差値



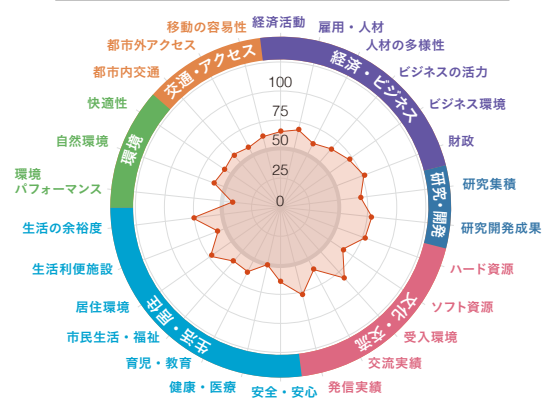
生活・居住の評価をさらに高めた自然豊かで文化的な都市

すでに高い総合力を有している国際性豊かな港区であるが、今年は「市民生活・福祉」における電子自治体推進度および「居住環境」の新規住宅供給の多さで大きくスコアを伸ばしたことで、**生活・居住**の順位をさらに一つ上げた。その他にも、**文化・交流**の「発信実績」における観光客誘致活動や、**環境**の「自然環境」における自然環境の満足度でもスコアを伸ばしていることから、住みやすさや文化的な魅力をさらに向上させたことがわかる。

分野別の順位・偏差値



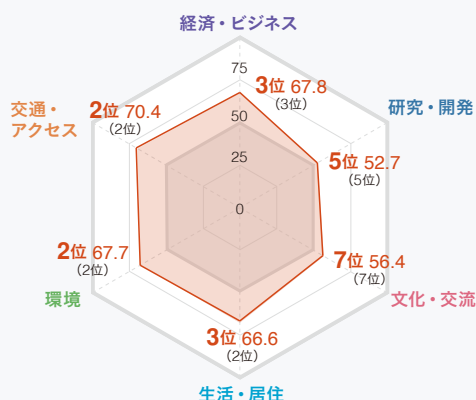
指標グループ別の偏差値



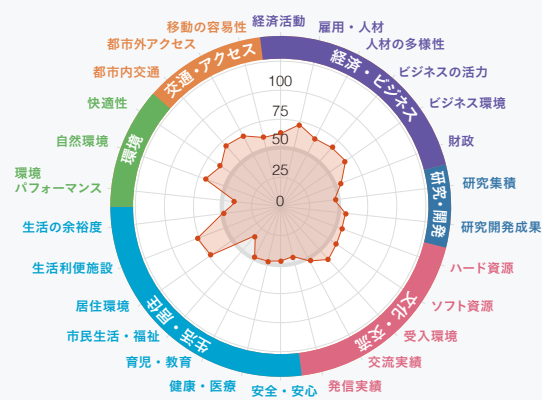
利便性の高い自然豊かな居住性の高い都市

分野別にみると、**環境**と**交通・アクセス**で高評価を得ており、**経済・ビジネス**、**生活・居住**も昨年に引き続き高い順位を維持するなど、バランスの良い評価を得ているといえる。指標グループ別にみると、**生活・居住**の「生活利便施設」と「居住環境」で極めて高い偏差値を示している。また、**環境**における「自然環境」や、**交通・アクセス**における「都市内交通」で高評価を得るなど、中央区は交通便利性が高く、自然豊かな住みやすい都市であるということがわかる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



分野別スコア

Function-Specific Scores



経済・ビジネス

順位	都市名	スコア
1	千代田区	447.0
2	港区	392.7
3	中央区	375.3
4	渋谷区	321.3
5	新宿区	294.1
6	品川区	256.6
7	目黒区	253.0
8	文京区	246.1
9	江東区	236.2
10	豊島区	234.3
11	台東区	222.8
12	世田谷区	216.3
13	中野区	214.8
14	杉並区	209.4
15	墨田区	203.5
16 23	大田区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



研究・開発

順位	都市名	スコア
1	港区	88.1
2	文京区	74.2
3	千代田区	74.0
4	新宿区	55.1
5	中央区	27.9
6	目黒区	21.6
7	渋谷区	17.4
8	江東区	16.7
9	世田谷区	15.6
10	大田区	14.8
11	豊島区	13.3
12	品川区	13.2
13	板橋区	8.0
14	荒川区	6.9
15	葛飾区	5.9
16 23	台東区, 墨田区, 中野区, 杉並区, 北区, 練馬区, 足立区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



文化・交流

順位	都市名	スコア
1	港区	234.2
2	千代田区	214.7
3	渋谷区	180.9
4	新宿区	170.3
5	江東区	164.3
6	台東区	152.8
7	中央区	143.9
8	文京区	142.5
9	墨田区	118.1
10	豊島区	117.4
11	品川区	105.2
12	目黒区	88.5
13	世田谷区	87.5
14	大田区	76.1
15	葛飾区	64.7
16 23	中野区, 杉並区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



生活・居住

順位	都市名	スコア
1	千代田区	399.2
2	港区	382.2
3	中央区	368.0
4	文京区	342.9
5	渋谷区	331.2
6	新宿区	322.5
7	目黒区	301.6
8	品川区	293.7
9	台東区	293.4
10	豊島区	292.2
11	世田谷区	291.3
12	杉並区	286.2
13	板橋区	277.1
14	練馬区	276.5
15	中野区	266.1
16 23	墨田区, 江東区, 大田区, 北区, 荒川区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



環境

順位	都市名	スコア
1	江東区	160.3
2	中央区	149.4
3	江戸川区	141.9
4	港区	138.1
5	練馬区	129.8
6	品川区	129.4
7	杉並区	128.2
8	世田谷区	126.3
9	千代田区	126.0
10	目黒区	122.9
11	文京区	122.4
12	墨田区	121.6
13	葛飾区	120.6
14	北区	117.9
15	大田区	115.4
16 23	新宿区, 台東区, 渋谷区, 中野区, 豊島区, 荒川区, 板橋区, 足立区 (市区町村コード順)	



交通・アクセス

順位	都市名	スコア
1	千代田区	206.9
2	中央区	202.3
3	港区	188.9
4	渋谷区	182.4
5	新宿区	179.7
6	台東区	179.6
7	品川区	178.3
8	江東区	177.4
9	文京区	173.9
10	大田区	170.9
11	豊島区	166.9
12	目黒区	163.0
13	中野区	161.9
14	墨田区	160.1
15	江戸川区	159.2
16 23	世田谷区, 杉並区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区 (市区町村コード順)	

合計スコア

順位	都市名	スコア
1	千代田区	1,467.7
2	港区	1,424.3
3	中央区	1,266.8
4	渋谷区	1,143.4
5	新宿区	1,118.0
6	文京区	1,102.0
7	江東区	1,013.5
8	品川区	976.4
9	台東区	962.3
10	目黒区	950.6
11	豊島区	915.7
12	世田谷区	889.0
13	墨田区	868.4
14	杉並区	842.2
15	大田区	832.0
16 23	中野区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	

アクター別スコア

Actor-Specific Scores

分野別に加え、都市の特性を「人」の視点で評価するために、本調査では「アクター」(シングル、ファミリー、シニア、観光客、経営者、従業者)を6設定した。アクター別スコアの算出のために、まずは各アクターが都市に求めるニーズを設定し、次に、86指標の中からそのニーズに対応した指標を抽出し、その平均値をスコアとした。



シングル 指標数23/86

順位	都市名	スコア
1	千代田区	62.0
2	中央区	60.7
3	港区	59.3
4	文京区	52.7
5	渋谷区	52.5
6	品川区	50.6
7	新宿区	49.9
8	目黒区	49.6
9	台東区	48.9
10	豊島区	47.5
11	杉並区	46.5
12	世田谷区	46.0
13	江東区	45.8
14	練馬区	44.8
15	中野区	44.6
16 23	墨田区,大田区,北区,荒川区,板橋区,足立区, 葛飾区,江戸川区 (市区町村コード順)	



ファミリー 指標数40/86

順位	都市名	スコア
1	港区	55.8
2	中央区	54.8
3	千代田区	54.7
4	文京区	49.4
5	渋谷区	48.3
6	品川区	46.4
7	新宿区	46.2
8	目黒区	46.0
9	江東区	45.3
10	台東区	44.4
11	世田谷区	44.0
12	杉並区	43.6
13	練馬区	43.1
14	豊島区	42.4
15	墨田区	41.8
16 23	大田区,中野区,北区,荒川区,板橋区,足立区, 葛飾区,江戸川区 (市区町村コード順)	



シニア 指標数36/86

順位	都市名	スコア
1	千代田区	59.2
2	中央区	57.6
3	港区	56.2
4	文京区	52.8
5	渋谷区	49.9
6	品川区	49.0
7	目黒区	48.2
8	新宿区	48.1
9	江東区	47.7
10	台東区	47.1
11	杉並区	46.4
12	世田谷区	45.8
13	練馬区	45.0
14	墨田区	44.8
15	中野区	43.9
16 23	大田区,豊島区,北区,荒川区,板橋区,足立区, 葛飾区,江戸川区 (市区町村コード順)	



観光客 指標数33/86

順位	都市名	スコア
1	港区	51.2
2	千代田区	50.3
3	中央区	46.4
4	江東区	42.2
5	渋谷区	41.8
6	新宿区	39.1
7	台東区	38.6
8	文京区	37.9
9	品川区	34.8
10	墨田区	33.0
11	豊島区	31.3
12	目黒区	31.0
13	世田谷区	30.2
14	大田区	28.9
15	江戸川区	28.6
16 23	中野区,杉並区,北区,荒川区,板橋区,練馬区, 足立区,葛飾区 (市区町村コード順)	



経営者 指標数36/86

順位	都市名	スコア
1	千代田区	68.3
2	港区	63.4
3	中央区	56.1
4	渋谷区	48.2
5	新宿区	47.1
6	文京区	42.2
7	品川区	40.1
8	江東区	39.8
9	目黒区	38.9
10	豊島区	37.6
11	台東区	35.5
12	中野区	33.7
13	世田谷区	33.3
14	大田区	33.0
15	杉並区	32.7
16 23	墨田区,北区,荒川区,板橋区,練馬区,足立区, 葛飾区,江戸川区 (市区町村コード順)	



従業者 指標数19/86

順位	都市名	スコア
1	中央区	67.5
2	千代田区	65.2
3	港区	58.2
4	新宿区	53.1
5	渋谷区	53.0
6	台東区	50.4
7	豊島区	46.2
8	品川区	45.4
9	文京区	45.2
10	目黒区	43.4
11	墨田区	42.0
12	荒川区	40.4
13	江東区	40.4
14	中野区	39.1
15	大田区	38.7
16 23	世田谷区,杉並区,北区,板橋区,練馬区,足立区, 葛飾区,江戸川区 (市区町村コード順)	

City Perception Survey Japan 都市のイメージ調査

1 背景と目的

森記念財団都市戦略研究所は、「日本の都市特性評価（JPC）」を通じて、日本の主要都市が有する強みや魅力といった都市特性を明らかにしている。一方で、それらの都市の居住者が、居住都市に対してどのようなイメージを抱いているのかは明らかにされていない。

そこで、当特集研究では、アンケート調査を通じて居住者が抱いている「都市のイメージ」を単語や文章として引き出し、それらを多角的な視点で計量分析・可視化することで、今後の各都市のイメージブランディング戦略に資することを目的とする。

※全都市の結果については、森記念財団のウェブサイト参照。

2 居住者アンケート調査

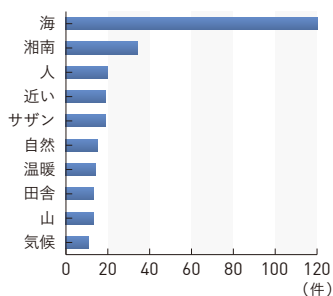
- 回答者：JPC-2022対象161都市に居住の20歳以上の男女
- 有効回収数：各都市300人
- 質問項目：「あなたが居住している都市のイメージを、単語もしくは数行の文章でお答えください。」



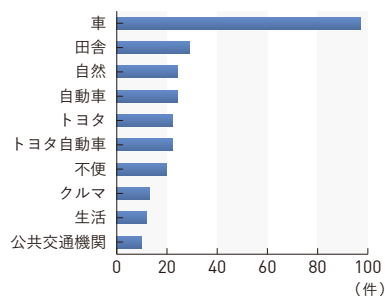
分析1 イメージキーワード トップ10（出現頻度集計）

アンケートの回答から得られた文章に対して、単語としての意味を持つ最小の単位にまで分解し解析した上で、各都市において出現頻度の高いキーワードの上位10単語を抽出した。最頻出単語の頻度が他都市と比べて特に高かった都市を以下に掲載した。

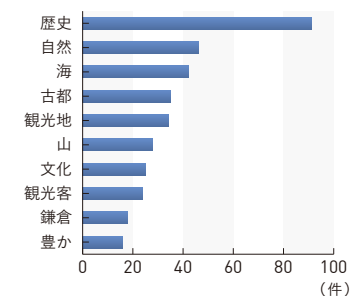
〔茅ヶ崎市〕



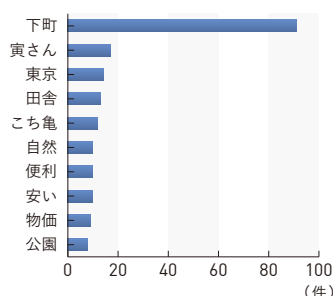
〔豊田市〕



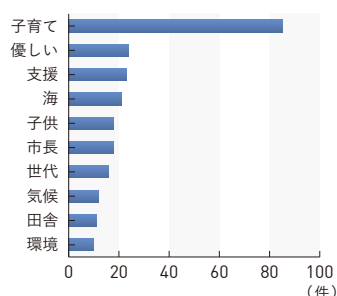
〔鎌倉市〕



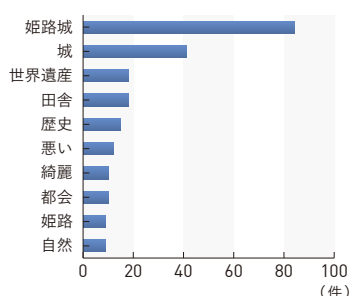
〔葛飾区〕



〔明石市〕



〔姫路市〕

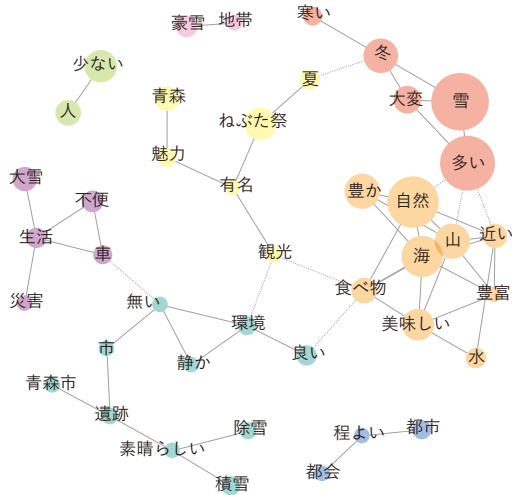


分析2

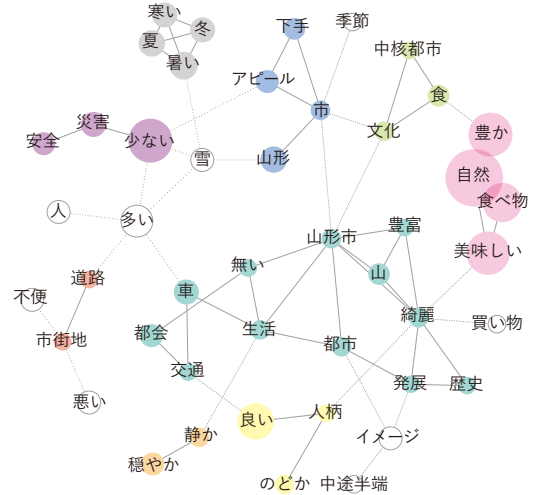
イメージキーワードの関係性（共起ネットワーク分析）

各都市で出現頻度が5回以上の単語のみを対象として、共起ネットワーク分析を行い、共起の程度が強い単語同士を線で結んだネットワーク図を描画した。以下にその結果の一例を掲載した。なお、円のサイズは出現頻度の多寡を表している。

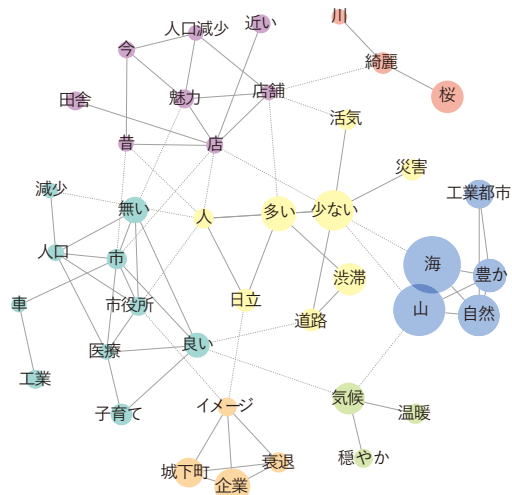
〔青森市〕



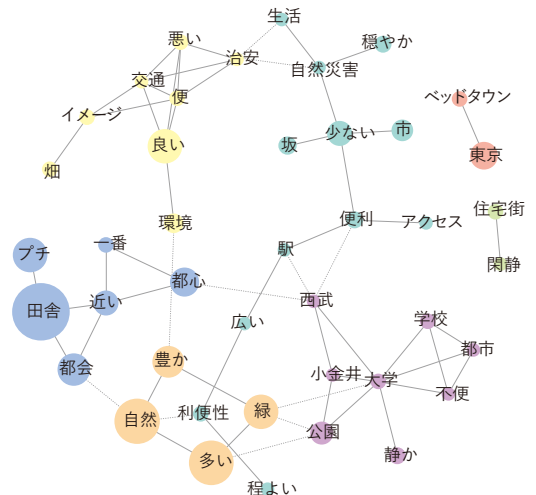
〔山形市〕



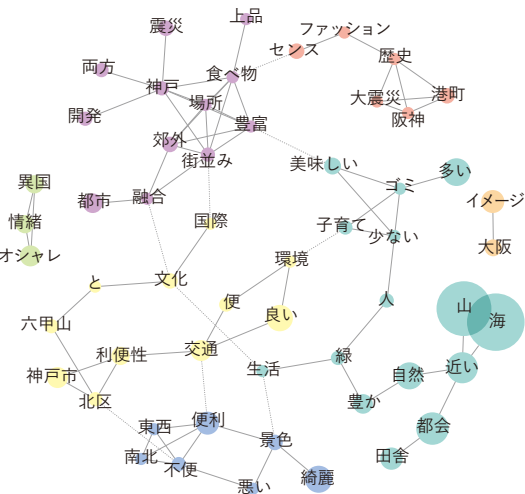
〔日立市〕



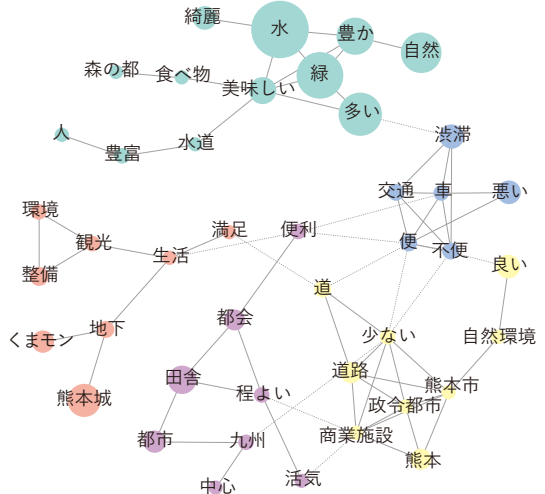
〔小平市〕



〔神戸市〕



〔熊本市〕



分析3 都市ごとの特徴的なイメージキーワード(特徴語抽出)

全都市の回答データに対して、「居住都市」を外部変数とした上でテキスト間の類似(Jaccard係数)を測定し、各都市を特徴づけるキーワードのうち上位10単語を抽出した。その中でも、トップの単語のJaccard係数が他都市と比べて特に高かった都市を以下に掲載した。なお、係数が高いほど、都市名とキーワードが共通に登場した回数が多く、そのような単語は特徴的であると判断した。

[富士市]

キーワード	Jaccard係数[%]
富士山	40
紙	8
製紙	8
工場	5
富士市	4
駿河湾	4
綺麗	3
臭い	2
麓	2
富士	2

[鈴鹿市]

キーワード	Jaccard係数[%]
サーキット	39
鈴鹿	18
モータースポーツ	15
F1	8
ホンダ	7
伊勢	4
型紙	3
車	2
レース	2
三重	2

[熊谷市]

キーワード	Jaccard係数[%]
暑い	38
ラグビー	15
熊谷	14
熱い	6
寒い	6
タウン	5
災害	3
日本一	2
地方都市	2
大会	1

[長岡市]

キーワード	Jaccard係数[%]
花火	36
長岡花火	10
長岡	6
大会	5
雪	5
米	4
山本五十六	3
有名	2
合併	2
酒	2

[春日部市]

キーワード	Jaccard係数[%]
クレヨンしんちゃん	34
春日部	3
中途半端	2
年寄り	2
不可	2
可	2
駅	2
発展	2
支援	1
古い	1

[鹿児島市]

キーワード	Jaccard係数[%]
桜島	32
火山灰	6
鹿児島市	4
黒	4
明治維新	3
優しい	3
温泉	3
雄大	3
食べ物	2
西郷	2

[弘前市]

キーワード	Jaccard係数[%]
桜	31
城	10
岩木山	6
城下町	6
四季	4
祭り	3
弘前	3
弘前城	3
リンゴ	3
折々	3

[豊川市]

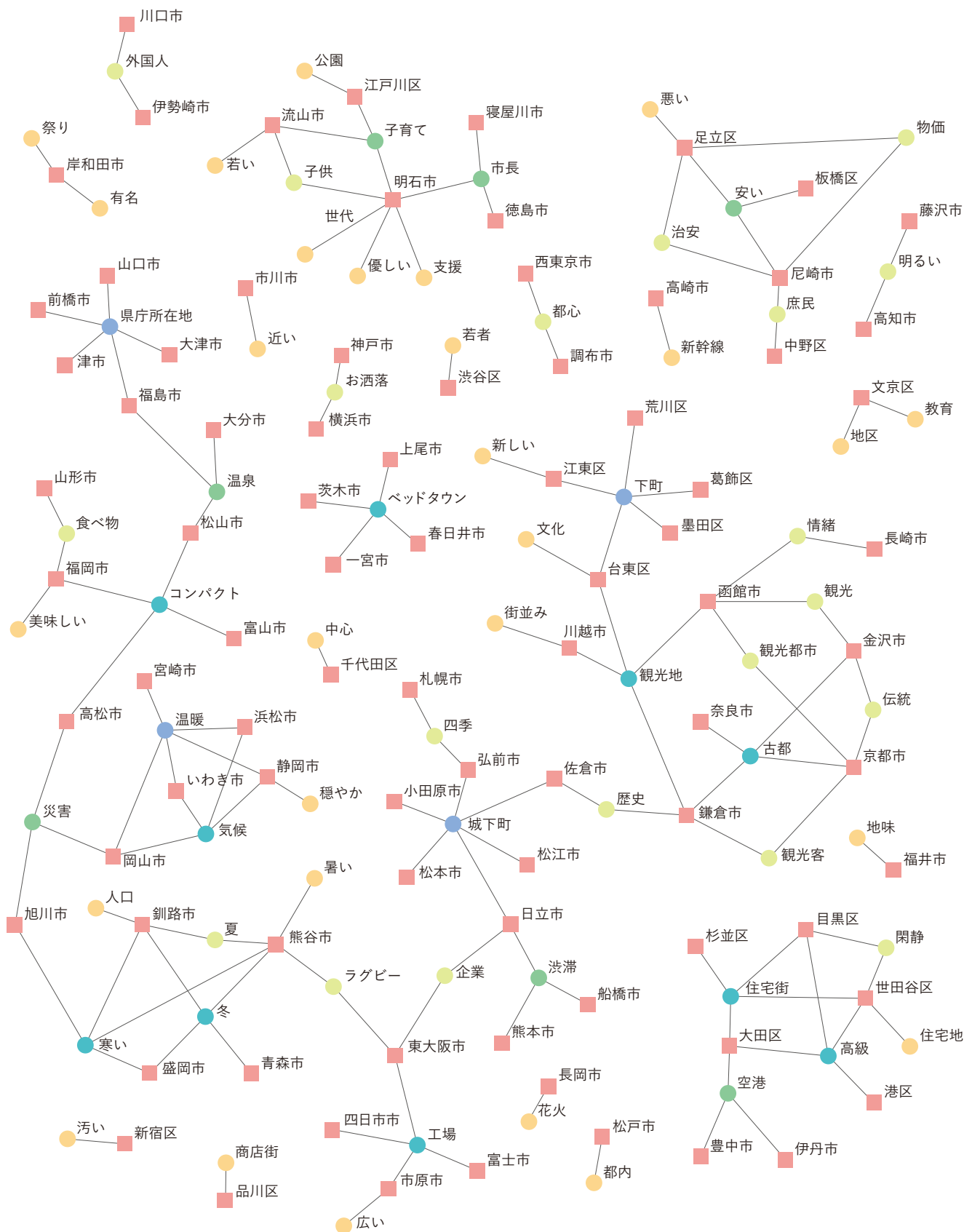
キーワード	Jaccard係数[%]
豊川稲荷	31
稲荷	8
有名	2
飯田線	2
豊川市	2
名鉄	2
国道	2
便	1
田舎	1
公共交通機関	1

[宇都宮市]

キーワード	Jaccard係数[%]
餃子	29
カクテル	4
愉快	4
LRT	3
宇都宮	3
宇都宮市	3
北関東	3
災害	2
特徴	2
地方都市	2

分析4 都市間のイメージの類似性(居住都市とキーワードの共起ネットワーク分析)

対象全都市のキーワードデータに対して、「居住都市」を外部変数とした上で共起ネットワーク分析を行い、都市とキーワードの共起の度合いにもとづくネットワーク図を描画した。



(注記) 以下の都市は特徴的な共起関係が抽出されなかったため上図に描画されていない。

苫小牧市、八戸市、仙台市、秋田市、郡山市、水戸市、つくば市、宇都宮市、太田市、さいたま市、所沢市、春日部市、草加市、越谷市、千葉市、柏市、八千代市、八王子市、立川市、三鷹市、府中市、町田市、小平市、日野市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市、新潟市、上越市、高岡市、甲府市、長野市、岐阜市、沼津市、名古屋市、豊橋市、岡崎市、豊川市、豊田市、安城市、鈴鹿市、宇治市、大阪市、堺市、吹田市、高槻市、枚方市、八尾市、和泉市、姫路市、西宮市、加古川市、宝塚市、和歌山市、鳥取市、出雲市、倉敷市、広島市、呉市、福山市、東広島市、下関市、北九州市、久留米市、佐賀市、佐世保市、鹿児島市、那覇市、中央区、豊島区、北区、練馬区

指標の定義

Definitions of Indicators

指標は、統計資料などにもとづく定量データ（計80指標）および森記念財団が実施した居住者アンケート（計7指標）を用いて設定した。データの取得方法の概要は以下の(1)および(2)の通りである。

(1) 統計資料などにもとづく定量データ（計80指標）

- ・可能な限り、公的な統計資料からデータを取得する
- ・公的な統計によらないデータについては、出典が明確なものを採用する
- ・データの取得期間は、2022年1月～3月

(2) 居住者アンケート（計7指標）

- ・調査方法：インターネット調査
- ・回答者：20歳以上の対象161都市の居住者
- ・有効回収数：計48,300人（各都市300人）。男女比は1:1、年代は20歳～59歳と60歳以上の比率を概ね6:4とした。
- ・調査時期：2022年3月
- ・調査実施会社：株式会社サーベイリサーチセンター

分野	指標グループ	No.	指標名	定義
経済・ビジネス	経済活動	1	付加価値額	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「付加価値額(企業単位)」(出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工)。
		2	地域内総支出	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「総支出(地域内ベース)」(出典：環境省「地域産業連関表」「地域経済計算」)。
		3	昼夜間人口比率	総務省統計局「国勢調査結果」における昼夜間人口比率(従業地・通学地による人口を常住地による人口で除した割合)。
	雇用・人材	4	従業者数	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「産業(中分類)別民営事業所数、従業上の地位(6区分)、男女別従業者数、出向・派遣従業者数及び1事業所当たり従業者数—都道府県、市区町村」に掲載されている「従業者数」(A～R全産業(S公務を除く))。
		5	賃金水準	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「給与総額」と「福利厚生費総額」の合計を「従業者数」(A～R全産業(S公務を除く))で除した値。
		6	高等教育修了者割合	総務省統計局「国勢調査結果」の「産業等基本集計(労働力状態、就業者の産業など)」に掲載されている高等教育修了者(「卒業者短大・高専」「卒業者大学・大学院」)を総務省統計局「国勢調査結果」の18歳以上人口で除した値。なお、専門学校卒業者はその修業年限によって、上記どちらかに区分される。
		7	若手人材の転入出	総務省統計局「国勢調査結果」における平成17年時点の高等教育機関へ入学する前の世代(15～19歳)の人口と、「国勢調査結果」における平成27年時点の高等教育を修了した世代(25～29歳)の人口の増減の比。
	人材の多様性	8	女性就業者割合	総務省統計局「国勢調査結果」の「就業状態等基本集計(労働力状態、就業者の産業・職業など)」に掲載されている15～64歳の女性就業者数を、同調査に掲載されている15～64歳総就業者数で除した値。
		9	外国人就業者割合	総務省統計局「国勢調査結果」における「就業状態等基本集計(労働力状態、就業者の産業・職業など)」に掲載されている15歳以上外国人就業者数を、同調査の15歳以上の就業者数で除した値。掲載がない都市は各都道府県労働局に掲載されている数を用いて、該当局にも掲載がない都市は外国人人口を用いて推計した。
		10	高齢者就業率	総務省統計局「国勢調査結果」における「就業状態等基本集計(労働力状態、就業者の産業・職業など)」に掲載されている65歳以上就業者数を、同調査に掲載されている65歳以上人口で除した値。
	ビジネスの活力	11	新規設立法人登記割合	国税庁「法人番号公表サイト」に掲載の各都市の総法人数のうち、過去一年間に新たに法人番号が指定された法人数の割合。
		12	労働生産性	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「付加価値額(企業単位)」(出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工)を、総務省統計局の「経済センサス-活動調査結果」に掲載されている「事業所に関する集計」における「従業者数」(A～R全産業(S公務を除く))で除した値。
		13	完全失業率	総務省統計局「国勢調査結果」における完全失業者数を同調査掲載の労働力人口で除した値。
	ビジネス環境	14	特区制度認定数	内閣府地方創生推進事務局において「国家戦略特区」に認定された事業数および「総合特区」、「構造改革特区」の特区数をそれぞれ指数化し、合算した値。なお、都道府県レベルで認定されたものは、0.5の重みづけを行った。
		15	対事業所サービス従業者割合	森記念財団都市戦略研究所が独自に定義した「対事業所サービス業」をもとに、総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」より相当する産業小分類25を抽出した。同調査「事業所に関する集計」に掲載されている当該25小分類の従業者数の合計を、同調査の「従業者数」(A～R全産業(S公務を除く))で除した割合。
		16	新規不動産業用建築物供給面積	国土交通省「建築着工統計調査報告」過去3年における「建築物：市区町村別、用途別(大分類)」のうちの「L 不動産業用建築物」の床面積の平均値。
		17	フレキシブル・ワークプレイス密度	次の2つの数値にもとづきスコアを算出した：(1)総務省統計局「経済センサス-基礎調査結果」における「参考表4産業(小分類)別全事業所数—全国、都道府県、市区町村」に掲載されている喫茶店数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除した値、(2)株式会社エググレイ「コワーキングジャパン」に掲載されているコワーキングスペース数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除した値。
	財政	18	財政力指数	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載されている「財政力指数」。東京23区は、東京都総務局行政部「特別区普通会計決算」に掲載されている「財政力指数」。
		19	経常収支比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載されている「経常収支比率」。
		20	実質公債費比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載されている「実質公債費比率」。
		21	将来負担比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載されている「将来負担比率」。東京23区は、東京都総務局行政部「決算に基づく健全化判断比率」における「将来負担比率」。

分野	指標グループ	No.	指標名	定 義
研究・開発	研究集積	22	学術・開発研究機関従業者割合	総務省統計局「経済センサス-基礎調査確報集計」における「事業所に関する集計」に掲載されている「学術・開発研究機関」の「従業者数」を、「従業者数」(A～R全産業(S公務を除く))で除した割合。
		23	トップ大学数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)株式会社ベネッセコーポレーション「THE世界大学ランキング日本版」における上位150の大学について、当該ランキングで定める総合スコアを大学キャンパス数で除して指数化した値、(2)TimesHigherEducationの"WorldUniversityRankings"に掲載されている大学について、当該ランキングで定める総合スコアを大学キャンパス数で除して指数化した値。
	研究開発成果	24	論文投稿数	文部科学省科学技術・学術政策研究所の「研究論文に着目した日英独の大学ベンチマーキング」に掲載されている、2008-2017年の総論文数が500件以上の日本の188大学、および同研究所の「サイエンスマップ報告書」に掲載されている個別国立研究開発法人等を対象に、国立情報学研究所の「CiNiiArticles」で検索し表示される2018-2020年の1年あたりの平均の論文投稿数を合計した数値。複数拠点がある場合は、その平均値を拠点数で按分し推計した。
		25	グローバルニッチトップ企業数	経済産業省「グローバルニッチトップ企業100選(GNT企業100選)選定企業一覧」に掲載されている企業の本社、営業所、事業所などを合算した値。
		26	特許取得数	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「特許分布図」(出典：特許庁「特許情報」)に掲載されている特許情報のうち、過去5年間に取得された件数。
文化・交流	ハード資源	27	観光地の数・評価	「トリップアドバイザー日本」の「観光」における「名所・観光スポット」、「自然・公園」、「アウトドア」、「美術館・博物館」、「動物園・水族館」、「レジャー施設」、「コンサート・ショー」、「遊園地・テーマパーク」の8カテゴリー(ただし、観光ソフト資源と思われる項目を除外)の観光地数と口コミ数をそれぞれ指数化し合算した値。
		28	文化財指定件数	文化庁「国指定文化財等データベース」および「世界遺産(文化遺産)一覧」に掲載されている建造物、風景、特定のエリアに指定された文化財において、以下の通り文化財の種類に応じて重みづけをした値の合算値：世界遺産(3点)、国宝・特別史跡・特別名勝・重要伝統的建造物群保存地区(2点)、重要文化財・登録有形文化財(建造物)・登録記念物・史跡・名勝・重要文化的景観(1点)
		29	景観まちづくりへの積極度	次の2つの数値にもとづきスコアを算出した：(1)国土交通省「景観法の施行状況」に掲載されている、対象都市の「景観計画策定」の有無および「景観まちづくり刷新モデル地区」の指定有無(有りにつき1点)。(2)『都市景観の日』実行委員会による、「都市景観大賞」都市空間部門、『景観まちづくり活動・教育部門』および『景観づくり活動部門』の各賞を受賞した地区または活動数。「都市景観大賞」美しいまちなみ賞」の各賞を受賞した地区数。「都市景観100選」を受賞した受賞者数(1つにつき1点)。県が受賞したものは対象外とする。
	ソフト資源	30	イベントの数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)「トリップアドバイザー日本」の「観光」における「イベント」の数を指数化した値、(2)公益財団法人日本観光振興協会「miru-navi全国観るなび」記載の「全てのイベント(全国のイベント一覧)」に記載の「郷土芸能」、「行・祭事」に分類されるイベントの数を指数化した値。
		31	クリエイティブ産業従業者割合	国際連合開発計画(UNDP)、国際連合教育科学文化機関(UNESCO)、および東京都産業労働局の報告書をもとに、独自に「クリエイティブ産業」を定義し、総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」より相当する産業小分類37を抽出した。同調査「事業所に関する集計」に掲載されている当該37小分類の従業者数の合計を、同調査の「従業者数」(A～R全産業(S公務を除く))で除した割合。
		32 Q	文化・歴史・伝統への接触機会	居住者アンケート「現在お住まいの都市は他の都市から訪れた人にとって、魅力的な文化(歴史、伝統、芸術、風習等)に接する機会が多いと思いますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
		33	宿泊施設客室数	株式会社リクルート「じゃらんwebサービス」に掲載されている宿泊施設の総客室数。
	受入環境	34	高級宿泊施設客室数	株式会社リクルート「じゃらんwebサービス」に掲載されている宿泊施設のうち「ハイクラス」に区分される宿泊施設の総客室数。
		35	イベントホール座席数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)公益社団法人全国公立文化施設協会「全国劇場・音楽堂等総合調査サイト」に掲載されている公立文化施設の座席数を指数化した値、(2)株式会社アイデアログ「会場ベストサーチ」に掲載されているホテルの宴会場の収容人数を指数化した値。掲載のない都市については、株式会社リクルート「じゃらんwebサービス」に掲載されている宿泊施設のうち、宴会場を有するホテルの客室数から推計した。
		36	観光案内所・病院の多言語対応	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)日本政府観光局(JNTO)「JNTO認定外国人観光案内所」に掲載されている観光案内所数を、その観光案内所の多言語対応や観光案内の提供範囲等で区分されたカテゴリーで重みづけをし、指数化した値、(2)日本政府観光局(JNTO)「外国人旅行者の受入が可能な医療機関」に掲載されている医療機関数を指数化した値。
		37	休日の人の多さ	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「休日滞在人口(2020年14時時点、15歳以上80歳未満人口の12か月平均値)」(出典：株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計@j」)から夜間人口を引き、昼間人口で除した値。
	交流実績	38	行楽・観光目的の訪問の多さ	株式会社ナイトレイ「CITYINSIGHT」のSNS解析プラン(日本人)に掲載されている過去1年間のSNS(Twitterベース)にて投稿された飲食、レジャー、観光、宿泊の4カテゴリー位置情報の投稿数(県外居住者限定)。
		39	国際会議・展示会開催件数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」に掲載されている「国際会議開催件数」を指数化した値(東京23区の「国際会議開催件数」は一部の国際会議のみ開催場所の記載があるため、それをもとに区別に開催件数を推計した)、(2)株式会社ビーオービー「展示会データベース」に掲載されている「展示会開催件数」を指数化した値。
		40	観光客誘致活動	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)国土交通省観光庁「観光地域づくり法人(DMO)法人一覧」に掲載されているDMOについて、市区町村単位の地域DMOを1法人につき1点、広域連携DMOと地域連携DMOを1法人につき0.5点として、法人数に重みづけをして指数化した値(東京については、独自調査により法人を追加)、(2)ツーリズムEXPOジャパンのウェブサイトに掲載されている過去5年の出展団体(民間を除く)について、市町村単位の団体を1法人につき1点(単体ではない出展も含む)、広域・都道府県レベルの団体を1法人につき0.5点として、団体数に重みづけをして指数化した値。
	発信実績	41	自治体SNSフォロワー数	Facebook、Twitter、Youtube、Instagramにおける、自治体もしくは観光協会発信の公式アカウントやチャンネル(災害情報や選挙関連情報のみ発信しているものは対象外)の数が大きい方のフォロワー数をソーシャルメディア(SNS)ごとに指数化し、合算した値。
		42 Q	魅力度・認知度・観光意欲度	居住者アンケートにて、無作為に抽出された居住都市以外の3都市に対する「認知度」「魅力度」「観光意欲度」についての回答をもとに算出した値。

分野	指標グループ	No.	指標名	定 義
生活・居住	安全・安心	43	刑法犯認知件数の少なさ	警視庁または、各都道府県の警察署が公表する刑法認知件数を昼間人口(千人あたり)で除した値。
		44	交通事故死亡者数の少なさ	公益財団法人交通事故総合分析センター「イタルダ インフォメーション」に掲載されている過去3か年の「全国市区町村別 交通事故死者数」の平均値を昼間人口(万人あたり)で除した値。
		45	災害時の安全性	次の5つの数値に基づきスコアを算出した: (1) 総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」に掲載されている、「1980年以前建築の住宅戸数」を総戸数で除した値、(2) 同調査の「総戸数に占める避難場所が1km以上離れている戸数」を総戸数で除した値、(3) 国土交通省国土政策局「国土数値情報」に掲載されている「浸水想定区域面積」を総面積で除した値、(4) 国土交通省国土政策局「国土数値情報」掲載の「土砂災害危険箇所データ」および「土砂災害警戒区域データ」における対象面積の合計値を総面積で除した値、(5) 総務省統計局「統計でみる市区町村のすがた」に掲載されている「建物火災出火件数」を昼間人口(万人あたり)で除した値。
		46	空家率の低さ	総務省統計局「住宅・土地統計調査」における「居住世帯の有無(8区分)別住宅数及び住宅以外で人が居住する建物数—市区町村」に掲載されている「居住世帯なし」の「空き家」のうち「その他住宅」に区分されている住宅数を、同調査の住宅総数で除した値。
	健康・医療	47	医師の多さ	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」における「医療施設従事医師数、主たる診療科・従業地による二次医療圏・市区町村別」に掲載されている「医療施設従事医師数」の総数を昼間人口(千人あたり)で除した値。
		48	病院・診療所・病床の多さ	次の3つの数値にもとづいてスコアを算出した: (1) 厚生労働省「医療施設(動態)調査」における施設総数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値、(2) 同調査における一般診療所総数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値、(3) 同調査における病床数・総数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値。
		49	平均寿命・健康寿命	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した: (1) 厚生労働省「市区町村別生命表の概況統計表1」の市区町村別平均寿命、(2) 浜松医科大学「平成28年都道府県別健康寿命」。(2)は都道府県データのため、(1)の半分の重みづけをした。
	育児・教育	50	合計特殊出生率	厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」に掲載されている合計特殊出生率(バイズ推定値)。
		51	保育ニーズの充足度	厚生労働省「各市区町村における待機児童解消に向けた取組状況の『見える化』について」に掲載されている、0歳児、1・2歳児の申込者数(保育ニーズ)を定員数(整備量)で除した値。
		52	子どもの医療費支援	厚生労働省「乳幼児等に係る医療費の援助についての調査」の「別紙3市区町村における乳幼児等医療費援助の実施状況」に掲載されている医療費援助(通院および入院)の対象年齢に応じた点数(就学前1点、7～9歳年度末2点、12歳年度末3点、15歳年度末4点、18歳年度末5点、24歳年度末6点)、および所得制限と一部自己負担の有無(無しにつき1点、通院・入院どちらか無しの場合は0.5点)の合計点。
		53	教育機会の多様性	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した: (1) 学びリンク編集部「全国フリースクールガイド小中高・不登校生の居場所探し」に掲載されているフリースクール数を指数化した値、(2) 代表的な高校偏差値情報サイトに掲載されている偏差値65以上の高校数を指数化した値。
	市民生活・福祉	54	外国人住民の受入体制	日本経済新聞が2019年2月12日に掲載した外国人住民の受け入れ体制に関する調査結果(記事見出し「外国人政策、自治体格差広がる恐れ」)を用いて指数化した値。同調査は、日本経済新聞が主要自治体の外国人住民の受け入れに関する主な13項目の取り組み状況を調べたもので、各項目を4カテゴリー(○:すでに実施、△:実施を検討、×:実施していない、-:未回答)に区分している。森記念財団で4カテゴリーを点数化し(「すでに実施」を1点、「実施を検討」を0.5点、「実施していない」や「未回答」を0点)、合算した値。掲載のない都市は各自治体に問い合わせた。
		55	要支援・要介護高齢者の少なさ	厚生労働省「介護保険事業状況報告(暫定)」における65歳以上の「要介護(要支援)認定者数」を、同報告に記載されている第1号被保険者数(65歳以上人口)で除した値。佐賀市・熊谷市は自治体発表のデータを用い、豊橋市、豊川市、鈴鹿市は推計を行った。
		56	日常生活自立支援事業利用者数の多さ	日常生活自立支援事業の実利用者数を夜間人口(万人あたり)で除した値。
		57	電子自治体推進度	総務省「地方自治情報管理概要(地方公共団体における行政情報化の推進状況調査結果)」の第3表「行政手続のオンライン化の推進状況」のうち、オンライン利用の促進等に向けて講じた措置や、住民サービス向上への取組状況などの項目をカウントした。
	居住環境	58 Q	居住環境の満足度	居住者アンケート「自宅周辺の居住環境(防災性、防犯性、利便性など総合的に)にどれほど満足していますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
		59	新規住宅供給の多さ	国土交通省「住宅着工統計報告」における「第15表着工住宅:都道府県別、工事別、利用関係別(戸数・件数、床面積の合計)」に掲載されている「新設」の「床面積の合計(m ²)」の過去3か年平均を、夜間人口(万人あたり)で除した値。
		60	住宅の広さ	総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」における1住宅あたり延べ面積。
		61	住宅のバリアフリー化率	総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」の「バリアフリー化住宅に居住する65歳以上の世帯員のいる主世帯総数」を、「65歳以上の世帯員のいる主世帯総数」で除した値。
	生活便利施設	62	小売事業所密度	総務省統計局「経済センサス-基礎調査結果」における「各種商品小売業」、「繊維・衣服・身の回り品小売業」、「飲食料品小売業」、「機械器具小売業」および「その他の小売業」の事業所数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除した値。
		63	飲食店舗密度	総務省統計局「経済センサス-基礎調査結果」における「飲食店」および「持ち帰り・配達飲食サービス業」の事業所数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除した値。
		64	コンビニ密度	代表的なインターネット電話帳に掲載されているコンビニ数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除した値。
	生活の余裕度	65	可処分所得	総務省統計局「全国家計構造調査」に掲載されている、二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1か月間の「可処分所得額」(実収入から非消費支出を引いた額)。東京23区については総務省統計局「社会・人口統計体系市区町村データ基礎データ」の「課税対象所得」および「世帯数」を用いて推計を行った。
		66	物価水準の低さ	総務省統計局「小売物価統計調査(構造編)」に掲載されている、第1表「10大費目別消費者物価地域差指数(全国平均=100)」の、「総合」より算出した値。なお、県庁所在市および政令指定都市以外の都市はデータが掲載されていないため、都道府県の値を代用する。
		67	住宅コストの低さ	総務省統計局「全国家計構造調査」の都道府県別家計収支に関する結果に掲載されている「住居費」と「持ち家(現住居)の帰属家賃」の合計値。東京23区については、以下の2つのデータをもとに推計した: (1) 同調査の横浜市の値および東京都特別区部の平均値、(2) 代表的な賃貸不動産サイトにおける、各区および横浜市の住宅賃料相場(2LDK程度)。

分野	指標グループ	No.	指標名	定 義
環境	環境パフォーマンス	68	リサイクル率	環境省「一般廃棄物処理実態調査」の「市町村集計結果(ごみ処理状況)」に掲載されているリサイクル率(リサイクル率R)。東京23区については「東京都23区分」の値。
		69	昼間人口あたりCO ₂ 排出量の少なさ	環境省「地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)策定支援サイト」で公表されている各市区町村のCO ₂ 排出量合計値を、総務省統計局「国勢調査結果」に基づく各市町村の昼間人口で除した人口1人あたりのCO ₂ 排出量。
		70	再生可能エネルギー自給率	千葉大学倉阪研究室+認定NPO法人環境エネルギー政策研究所提供の「永続地帯報告書」の地域的エネルギー自給率(電力+熱)の値。地域的エネルギー自給率とは、地域的エネルギー需要(民生用+農林水産業用エネルギー需要)に占める再生可能エネルギー供給量の比率。再生可能エネルギーは、太陽光発電、風力発電、地熱発電、小水力発電、バイオマス発電、太陽熱、地熱、バイオマス熱を含む。
	自然環境	71 Q	自然環境の満足度	居住者アンケート「自然環境(山や森、海や川、緑豊かな公園や街路樹など)にどれほど満足していますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
		72	都市地域緑地率	国土交通省国土政策局「国土数値情報」における「都市地域土地利用細分メッシュ」を用いて、田、その他の農用地、森林、荒地、公園・緑地、ゴルフ場の面積を抽出し、都市地域総面積で除した値。都市地域とは、国土を都市地域、農業地域、森林地域、自然公園地域、自然保全地域の5地域に分類したときの都市地域を指し、都市計画法第5条により都市計画区域として指定されている又は指定されることが予定されている地域を指す。
		73	水辺の充実度	株式会社東京地図研究社のオリジナル地図データ「MapPackage」を用いて、行政区域総面積における水辺面積を推計し、これを行政区域総面積で除した値。水辺面積の推計は以下のルールにもとづいて行った。(1)面データがある水域(主に海)においては、陸域から100m圏内の水面の面積を算出した。(2)線データしかない水域(主に川)においては、陸域から100m圏内の水域の線データの長さを算出し、水域の幅を10mと設定し、算出した長さに乗じた。(利用した「MapPackage」での水域の取得基準により、水域の数値が0となっている場合がある)
	快適性	74	年間日照時間	気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」に掲載されている、各都市が属する都道府県の管区気象台、地方気象台、特別地域気象観測所の各観測地点のうち、市(区)役所所在地最寄りの地点の1年間の合計日照時間。
		75	気温・湿度が快適な日数	気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」に掲載されている、各都市が属する都道府県の管区気象台、地方気象台、特別地域気象観測所の各観測地点のうち、市(区)役所所在地最寄りの地点の1年間の不快指数が60以上75以下の日数をカウント。不快指数は、日平均気温および日平均湿度を用いて、以下の計算方法で算出した。不快指数(DI)=0.81T+0.01H×(0.99T-14.3)+46.3(Tは気温℃、Hは湿度%)
		76	空気のきれいさ	国立環境研究所「大気環境月間値・年間値データ」における「窒素酸化物(NO _x)」の濃度と「微小粒子状物質(PM _{2.5})」の濃度において、全測定局の年間平均値をそれぞれ指数化し、合算した値。
		77 Q	街路の清潔さ	居住者アンケート「他の都市と比べて、現在お住まいの都市の屋外空間、街路等は清潔に(街路上にゴミが落ちていない等)保たれていますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
交通・アクセス	都市内交通	78 Q	公共交通の利便性	居住者アンケート「公共交通(鉄道やバスなどの運行本数、施設・設備、サービスなど総合的に)にどれほど満足していますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
		79	鉄道駅・バス停密度	国土交通省国土政策局「国土数値情報」における「鉄道駅データ」と「バス停留所データ」に掲載されている鉄道駅数とバス停留所数を、都市計画区域面積からそれぞれ密度を算出し、指数化した値を合算した。
		80	交通渋滞の少なさ	国土交通省「全国道路・街路交通情勢調査」に掲載されている旅行速度整理表(都道府県別道路種別別)より、自動車専用道路以外の昼間12時間平均旅行速度(時間帯別交通量加重)の上り・下りを平均した値。
	都市外アクセス	81	空港アクセス時間の短さ	対象都市の2時間以内で到達可能な空港(対象空港)について、所要時間あたりの利用者数の比を、各市区役所から対象空港までの所要時間に乗じて合計した時間。平均所要時間の算出にあたっては、(1)Googleマップで算出される各市区役所から最寄りの空港までの最短アクセス時間(平日朝10時到着、自動車による移動)、および(2)国土交通省東京航空局および大阪航空局の「管内空港の利用概況集計表」より集計した空港別の年間旅客者数(国内線・国際線合計)の2つのデータを取得した上で、各空港の旅客者数と所要時間をもとに対象都市ごとの平均所要時間を算出した。
		82	新幹線の利用のしやすさ	次の2つの数値に基づきスコアを計算した:(1)国土交通省国土政策局「国土数値情報」から取得した新幹線の停車駅の乗降客数(新幹線・在来線の合算値)。新幹線の停車駅がない都市は、対象都市内で乗降客数が最大の駅から最も近い新幹線の停車駅の乗降客数。乗降客数が記載されていない駅は、個別にデータを収集。(2)新幹線の停車駅までの移動時間。新幹線の停車駅がある都市は、移動時間を0とした。新幹線の停車駅がない都市は、都市内の最も乗降客数が多い駅から最も近い新幹線の停車駅までの移動時間とする(平日朝10時到着、鉄道による移動)。なお、新幹線の停車駅に朝10時までに到達が不可能な場合はスコアを0とした。
		83	インターチェンジ数	国土交通省国土政策局「国土数値情報」の「高速道路時系列データ」における「一般インターチェンジ」および「スマートインターチェンジ」の数。
	移動の容易性	84	都市のコンパクトさ	総務省統計局「国勢調査」における人口等基本集計(男女・年齢・配偶関係・世帯の構成、住居の状態など)に掲載されている、人口集中地区の人口を同調査の夜間人口で除した割合。なお、人口集中地区とは「(1)原則として人口密度が1平方キロメートルあたり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境界域内で互いに隣接して、(2)それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域」。
		85	通勤時間の短さ	総務省「住宅・土地統計調査」における家計を主に支える者の通勤時間の中央値。
		86 Q	自転車の利用のしやすさ	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した:(1)RYDE株式会社「RYDECYCLE」、および株式会社ナビタイムジャパン「全国のシェアサイクル」の登録数が多い方のシェアサイクルポート数、(2)居住者アンケート「新型コロナウイルス感染症流行後の、主たる通勤や通学に用いている移動手段を選択してください。」の問いに対する選択肢(徒歩、自転車、バイク、車、バス・路面電車、電車・地下鉄)のうち自転車の占める割合。

Q: 居住者アンケート結果を用いている指標



日本の都市特性評価

Japan Power Cities — Profiling Urban Attractiveness

2022年7月

編集・発行

一般財団法人 森記念財団 都市戦略研究所

装丁・印刷：光村印刷株式会社

調査に関するお問い合わせ

iusall@mori-m-foundation.or.jp

一般財団法人 森記念財団 都市戦略研究所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目5番1号 虎ノ門37 森ビル

TEL : 03-6406-6800

www.mori-m-foundation.or.jp

© 2022 The Mori Memorial Foundation

このパンフレットを許可なく複製・頒布することを禁じます。

J a p a n

P o w e r

C i t i e s

Profiling Urban Attractiveness